

# 令和元年度

## 静岡県済生会事業報告書

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会支部 静岡県済生会

# 済生会基本原則

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>済生会は、済生勅語にみられる「施薬救療」の精神を承けて済生の実を挙げ、社会福祉の増進を図ることを目的として設立された。

以来、全国にわたり医療機関及びその他の社会福祉施設等を設置して定款に記された事業を行っている。

## 令和元年度 静岡県済生会 経営方針

### 済生会の理念と役割の実践

支部理事会を意思決定機関とし、支部長に幅広い権限が一元化された静岡県済生会の業務執行体制は6年目に入り、その機動的かつ効率的な組織運営体制のメリットを最大限生かし、変化する経済・社会状況や経営環境に的確に対応しつつ、安定した経営基盤を確立・強化するとともに、本支部の「施薬救療」の具現化と社会的使命をより一層発揮するため、「第2期中期事業計画」を策定し、その着実な推進に努める。

#### 1 済生会ブランドの構築のために

「施薬救療」の精神を具現化した無料低額診療事業は、済生会活動の原点である。この事業の一層の推進と生活困窮者への支援事業の充実並びに医療・福祉サービスの積極的な推進を図る。全職員がこの事業への理解を深め、幅広くかつ積極的に実行することにより済生会のブランドが確立する。

#### 2 わが国最大の医療・福祉団体としての活動と役割

生活に密着した心温まる医療・福祉サービスを提供する。

また、切れ目のない医療・福祉サービスを提供するためには、あらゆる種類の医療・福祉サービスが密接に連携する必要がある。この面でも先導的な役割を果たしていく。特に、今後の我が国の医療・福祉分野において最重要課題とされる地域包括ケアの形成に向けて、本支部の有する医療・福祉の資源を効果的に活用し、連携を図る取組みを進める。

#### 3 行政・関係団体・地域住民等外部との連携・協力

地域における医療・福祉の需要に応えるため、行政や社会福祉協議会等の他団体との連携・協力などの仕組みを形成し、地域ネットワークのキーステーションとしての役割を担う。

#### 4 良質な人材の確保や、「施薬救療」の精神を実践する「済生会人」の育成に努め、サービスの向上と組織体制の強化を図る。

#### 5 ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底を図るとともに、危機管理体制の万全な備えに一層努める。

## 目 次

○	令和元年度事業報告	頁
1	静岡県済生会支部事務局	1
2	静岡県済生会監査室	13
3	静岡済生会総合病院	15
4	静岡済生会療育センター令和	19
5	静岡医療福祉センター成人部	23
6	静岡医療福祉センターライトホーム	25
7	静岡市発達障害者支援センター	27
8	伊豆医療福祉センター	29
9	静岡県川奈臨海学園	32
10	静岡市中心身障害児福祉センター「いこいの家」	35
11	小 鹿 苑	38
12	小鹿なでしこ苑	42
13	静岡市桜の園	44
14	静岡市中心身障害者ケアセンター	50
15	ワーク春日	54
16	静岡済生会看護専門学校	56
17	静岡済生会訪問看護ステーションおしか	58

※各記載事業の記号は次のとおりです。

① 指定管理による事業

② 自治体からの委託事業

## 1 静岡県済生会支部事務局

### 基本理念

済生会創立の「施薬救療」の理念の下、静岡県済生会の各施設の連携を図り、その総力を挙げて質の高い医療・福祉サービスを提供し、安心・安全な地域医療・福祉の実現に寄与する。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 安心・安全な地域医療・福祉の増進

- (1) 病院及び各施設と連携した生活困窮者支援事業の積極的推進 目標数：1,844 名
- (2) 静岡県済生会地域包括ケア推進方策の検討
  - ・ 済生会地域包括ケア連携士を中心とし、実現するための具体的施策の構築
  - ・ 施設間の連携及び社会資源との連携について推進

**結果** (1) ア令和元年度計画に対しての実績 2,155 名 (2,669 名) 内訳：ホームレス 54 名 (118 名)、高齢者及び障害者 1,405 名 (1,514 名)、刑余者 30 名 (16 名)、外国人 242 名 (211 名)、母子児童 141 名 (175 名)、その他 283 名 (635 名)

イ令和元年度計画外の実施事業実績 5 名 内訳：ホームレス 5 名

(詳細は、7 ページから 12 ページ参照)

- (2) 済生会地域包括ケア連携士 (10 名) を中心に施設間の連携等について協議、検討を進めた。病院と施設間の意思疎通、共通理解を図ることを目的とした「施設連携懇話会」(1 回)を開催した。

#### 目標 2 各施設の円滑かつ安定的な運営支援

- (1) 施設整備や事業推進上の課題解決等に係る支援
  - ・ 川奈臨海学園の建替計画
  - ・ 静岡医療福祉センター児童部及び静岡済生会総合病院統合の推進
- (2) 職員研修や人事評価制度等の人材育成の充実・強化
  - ・ 体系的な職員研修の構築、階層・職種毎の研修の開催
  - ・ 人事評価制度導入に向けた試行と評価者研修 (令和 2 年度中の運用開始を目標)
- (3) 適切な会計経理処理に対する支援の強化
  - ・ 公認会計士による指導・会計経理担当職員研修会の開催

**結果** (1) 施設の経営改善、建替え計画に対して側面から施設への支援を行った。  
静岡医療福祉センター児童部は「静岡済生会療育センター令和」と名称変更し令和元年 10 月 1 日静岡済生会総合病院と統合

- (2) 令和元年 10 月より試行を開始。評価項目・運用等修正を要するため令和 2 年度も引き続き試行とする。

- (3) 各施設に対する監査法人による指導への側面的支援を行った。
  - ・ 研修はコロナウイルスの影響で開催中止

#### 目標 3 医療・福祉の人材確保

- ・ 実習指導者等との連携を図り、魅力ある法人の情報を発信し、外国人も含めた優秀な人材確保に努める

<b>結果</b>	実習受け入れが円滑に進むよう「静岡県済生会実習担当者マニュアル」を10月に発行した。 令和2年度から介護福祉専門学校に通学する2名（インドネシア・ベトナム）に奨学金を貸与する。
<b>目標4 静岡県済生会事業の積極的広報による市・県民との信頼関係の構築</b>	(1) 静岡県済生会ホームページのリニューアルによる情報発信の強化 (2) 病院及び各施設の情報発信の促進（新聞等マスコミへの露出）
<b>結果</b>	(1) 7月リニューアル 施設紹介、採用情報、先輩職員の声等更新 (2) 支部理事会において「報道で見る静岡県済生会」で報告

(1) 支部事務局運営事業

社会福祉法人<sup>恩賜財団</sup>静岡県済生会の法人管理並びに運営事務について、次のとおり事業を行った。

ア 支部理事会の開催・・・7回開催（8回）

	開催日	場所
第1回	令和元年 5月13日	グランディエール ブケトーカイ
第2回	令和元年 5月13日	〃 〃
第3回	令和元年 7月22日	〃 〃
第4回	令和元年 9月19日	〃 〃
第5回	令和元年 11月25日	〃 〃
第6回	令和2年 1月31日	クーポール会館
第7回	令和2年 3月17日	〃

イ 諸会議の開催

会議名称	回
・支部事務局会議	21 (19)
・支部執行会議	6 (6)

ウ 済生会本部等との連絡調整

会議名称	回
・支部長会議（本部）	2 (2)
・全国済生会支部事務責任者会議（熊本県支部）	1 (1)

エ 医療施設及び社会福祉施設等の有機的な連携を図るための連絡調整

会議名称	回
・静岡県済生会地域包括ケア未来構想委員会	11 (9)
・静岡県済生会福祉医療施設長懇話会	1 (0)

オ 第三者委員会の運営に係る業務・・・3回(2回)

	開催日	場所
第1回	令和元年 7月22日	静岡医療福祉センター
第2回	令和元年 12月20日	小鹿苑
第3回	令和2年 3月19日	静岡医療福祉センター

カ 職員研修事業の実施

担当部署	開催日	内容
総務管理課 (病院と合同)	平成31年4月1日～ 2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則・給与規程の説明</li> <li>・無料低額診療事業について</li> <li>・マナーセミナー</li> </ul>
総務管理課 第1回	令和元年12月23日	講演：改正法、同一労働・同一賃金について <ul style="list-style-type: none"> <li>・本支部における同一労働・同一賃金ガイドラインについて</li> <li>・就業規則等の一部改正について</li> </ul> 13施設25名（13施設22名）
総務管理課 第2回	令和2年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一労働・同一賃金について</li> <li>・奨学金貸与事業について</li> <li>・就業規則等の一部改正について</li> </ul> 13施設26名
企画課 第1回	令和元年6月21日	「相談業務職員研修」 グループワーク 9施設12名
企画課 第2回	令和元年7月26日	「業務主査・主任研修」 済生会について グループワーク 9施設14名（7施設13名）
企画課 第3回	令和元年9月20日	「業務新人研修」 済生会について グループワーク 8施設15名（8施設19名）
企画課 第4回	令和元年11月22日	「業務中堅職員研修」 済生会について グループワーク 7施設15名（11施設23名）
企画課 第5回	令和2年1月24日	「業務副主任研修」 済生会について 6施設8名（10施設21名）

※財務課主催研修会(2回)は新型コロナウイルスの関係で中止とした。

キ その他

・実習担当職員打ち合わせ会

2回(2回)

第1回	令和元年5月27日	グループワーク 「静岡県済生会実習生受け入れマニュアルについて」12施設18名
第2回	令和元年9月25日	「静岡県済生会実習生受け入れマニュアルの発刊について」8施設14名 (令和元年10月1日発刊)

- ・法人の管理運営に係る業務（会計事務所等による会計監査及び監事監査）  
対象・・・全施設

	開催日	対象
監査法人および会計事務所による会計監査	平成31年4月18日、19日 20日、22日	全施設
監事監査	平成31年4月25日	全施設

- ・行政機関（静岡県、静岡市）による指導監査への立会い

## （２）生活困窮者支援事業

生活困窮者総合支援事業（なでしこプラン）を病院、各施設とともに推進、展開した。（※各施設別詳細については、7ページ～12ページ参照）

また、就職相談会、介護フェア等においても無料低額診療事業等のパンフレット配布を行い、啓発活動を実施した。

## （３）静岡県済生会職員共済制度事業

職員及び家族の福利厚生の上昇を図るため、各種給付及び貸付事業を実施した。実績は、次のとおりであった。

事業名	令和元年度		平成30年度	
	人数(名)	決算額(円)	人数(名)	決算額(円)
退職共済事業給付金	14	57,438,896	35	147,196,538
医療共済給付金	5,705	36,730,620	6,007	35,722,906
職員共済制度資金貸付事業	0	0	0	0

## （４）施設整備等への支援

### ア 静岡医療福祉センター児童部

静岡医療福祉センター児童部及び静岡済生会総合病院と連携を取り、令和元年10月1日に静岡済生会療育センター令和と名称変更して統合した。

### イ 静岡県川奈臨海学園

老朽化した施設の建て替え及び地域小規模児童養護施設の開設に向けて継続して協議を行った。

### ウ 静岡市桜の園

静岡市の所管課と施設の建て替え等も視野に入れ、今後の施設の在り方について協議を行った。

## （５）その他

福祉楽市への出展 令和元年10月16日、17日 松坂屋北館5階特設会場  
ブース来場者155名

令和元年度支部理事会議案一覧

	支部理事会開催日	議題 No	議題	承認/否認等		
第1回	令和1年5月13日	1	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会支部理事の委嘱について	承認		
第2回	令和1年5月13日	1	平成30年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会事業報告について	承認		
		2	平成30年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会決算報告について	承認		
		3	静岡済生会総合病院長期設備整備資金借入の承認について	承認		
		4	令和元年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会事業計画の一部改訂について	承認		
		5	伊豆医療福祉センター 児童発達支援センター運営規程（伊豆医療福祉センターポレポレ）の一部改正について	承認		
		6	伊豆医療福祉センター 相談支援事業所サポートセンターみらいず運営規程の一部改正について	承認		
		7	指定障害者支援施設「静岡医療福祉センター成人部」運営規程及び静岡医療福祉センター成人部（短期入所）運営規程の一部改正について	承認		
		8	障害者生活支援センター城東運営規程の一部改正について	承認		
		ア	静岡県済生会支部理事の委嘱について	報告		
		イ	静岡市実地指導における指摘事項と是正・改善計画について	報告		
		ウ	報道で見る静岡県済生会	報告		
		エ	第37回児童文化奨励絵画展	報告		
		オ	済生会フェアについて	報告		
		第3回	令和1年7月22日	1	令和元年度静岡県済生会施設整備計画の追加について	承認
				追加	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会第三者委員の選任について	承認
ア	令和元年度7月1日付人事について			報告		
イ	静岡済生会総合病院におけるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染について			報告		
ウ	平成30年度計算書類の修正について			報告		
エ	静岡医療福祉センター児童部と静岡済生会総合病院の統合について（経過報告）			報告		
オ	報道等で見る静岡県済生会			報告		
第4回	令和1年9月19日	1	静岡県川奈臨海学園施設整備計画について	承認		
		2	静岡済生会総合病院長期運転資金借入の承認について	承認		
		3	令和元年度静岡県済生会収支予算の補正について	承認		
		4	社会福祉法人恩賜財団済生会定款変更申請について	承認		
		5	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会規則の一部改正について	承認		
		6	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会組織規程の一部改正について	承認		
		7	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会給与規程の一部改正について	承認		
		8	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会文書取扱規程の一部改正について	承認		
		9	静岡県済生会各施設処務規則の制定について	承認		
		10	静岡県済生会各施設印章管理規程の制定について	承認		
		11	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会各規程・規則の一部改正について	承認		
		12	令和元年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会職員定数について	承認		
		13	指定管理者の指定に係る申請について	承認		
		ア	社会福祉施設に対する指導監査の実施結果について（静岡県川奈臨海学園）	報告		
		イ	報道で見る静岡県済生会について	報告		

	支部理事会開催日	議題 No	議題	承認/否認等
第5回	令和1年11月25日	1	令和元年度支部理事会議案一覧	承認
		ア	静岡済生会総合病院半期決算報告について	報告
		イ	静岡済生会総合病院長期設備整備資金借入結果について	報告
		ウ	静岡市内特養(3カ所)閉鎖による当支部の対応について	報告
		エ	報道等で見える静岡県済生会	報告
第6回	令和2年1月31日	1	令和元年度「静岡済生会療育センター令和」積立資産取崩について	承認
		2	静岡済生会総合病院長期設備整備資金借入の承認について	承認
		3	令和2年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会事業計画について	承認
		4	令和2年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会収支予算について	承認
		5	令和2年度社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会職員定数について	承認
		6	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会支部役員の選任について	承認
		追加	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会支部長候補者の選任及び推薦について	承認
		ア	静岡済生会総合病院長期運営資金借入結果について	報告
		イ	内部監査に対する是正報告について	報告
		ウ	指定管理者の候補者に係る審議結果について	報告
		エ	報道で見える静岡県済生会	報告
		オ	手足の不自由な子どもの絵画・写真展から	報告
		第7回	令和2年3月17日	1
2	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会規則の一部改正について			承認
3	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会医療福祉職員奨学金貸与規程の制定について			承認
4	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会就業規則の一部改正について			承認
5	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会有期契約職員就業規則の一部改正について			承認
6	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会無期転換職員就業規則の一部改正について			承認
7	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会給与規程の一部改正について			承認
8	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会給与規程の手当に関する特別措置規程の制定について			承認
9	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会組織規程の一部改正について			承認
10	静岡県川奈臨海学園運営規程の一部改正について			承認
11	小鹿苑運営規程の一部改正について			承認
12	静岡済生会訪問看護ステーションおしか運営規程の一部改正について			承認
ア	報道で見える静岡県済生会			報告

第3次なでしこプラン(令和元年度実績)

施設名	事業名	第2次計画	第3次計画				
		H29年度 実績	H30年度 実績	令和元年度 目標 実績		前年対比	目標対比
静岡済生会総合病院	社会福祉施設等健康診断支援事業	990	1,096	900	1,043	△ 53	143
	保護観察所等刑余者健診・相談事業	3	2	5	1	△ 1	△ 4
	児童・ひとり親家庭等健康診断・相談事業	27	25	30	27	2	△ 3
	生活困窮者等健康診断・相談事業	95	118	100	54	△ 64	△ 46
	外国人等健康診断・相談事業	128	117	100	102	△ 15	2
	生計困難者等に対する日用品及び交通費等の支援事業	40	15	30	5	△ 10	△ 25
	聴力障害者手話通訳支援事業	49	31	40	36	5	△ 4
	外国人医療通訳支援事業	125	93	70	140	47	70
	がん患者就労支援事業		15	5	18	3	13
	無料健康相談事業	0	0	10	9	9	△ 1
	ハローワーク健康診断、相談事業	0				0	0
	※無料インフルエンザ予防接種				5	5	5
総合病院・小鹿苑・なでしこ苑	啓蒙・周知活動	475	845	330	544	△ 301	214
※病院68名、小鹿苑309名、小鹿なでしこ苑167名							
総合病院・伊豆医療・成人部	支部内各施設における無料健康相談	22	45	27	48	3	21
※病院0名、成人部2名、伊豆医療46名							
小鹿苑	虐待高齢者への緊急受入れ事業	0	0	1	0	0	△ 1
静岡市桜の園	虐待障害者への緊急受入れ事業	0	114	2	0	△ 114	△ 2
	少年院在院者奉仕活動実習受け入れ事業	20	31	16	17	△ 14	1
静岡県川奈臨海学園	保護観察対象者等が行う社会貢献活動の受入れ	14	14	16	12	△ 2	△ 4
	施設退所者の健康診断補助事業		1	2	0	△ 1	△ 2
静岡済生会療育センター令和	障害児療育講座	76	107	160	99	△ 8	△ 61
なでしこプラン対象者数合計		2,064	2,669	1,844	2,160	△ 509	316

# なでしこプラン事業報告(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

支部署名	静岡県済生会	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数 (合計)	54		1,405	30	242	141	283	2,155

施設名	静岡済生会総合病院
-----	-----------

事業名	社会福祉施設等健康診断支援事業	内容	健康診断・医療相談 ( )							
概要	社会福祉施設(身体障害者関係施設、養護老人ホーム等)と連携し、当該施設又は院内にて、当該施設の利用者を対象に健康診断にかかる費用の免除・減額を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数			1,043					1,043
実施延日数	90	従事者延数	360	支出総額(円) 2,609,110 (内訳) 検診代						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外) 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	静岡市救護所、静岡老人ホーム、日本平学園、白寿荘、静岡わらしな学園等								

事業名	保護観察所等健康診断・相談事業	内容	健康診断・医療相談 ( )							
概要	保護観察所、刑務所、更生保護施設、地域生活定着支援センターと連携し、当該施設又は院内にて、刑余者等を対象に健康診断及び、相談を行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数				1				1
実施延日数	1	従事者延数	1	支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外) 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	保護司								

事業名	児童・ひとり親家庭等健康診断・相談事業	内容	健康診断・医療相談 ( )							
概要	児童・母子福祉施設、静岡県女性相談センター等と連携し、当該施設又は院内にて入所者を対象に、健康診断及び相談を行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数						27		27
実施延日数	1	従事者延数	4	支出総額(円) 113,130 (内訳) 検診代						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外) 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	千代田寮								

事業名	生活困窮者等健康診断・相談事業	内容	健康診断・医療相談 ( )							
概要	神奈川県済生会等と共同で横浜市寿町で生活困窮者を対象に、健康診断及び相談を行う。当院は検診車(胸腹部撮影、聴力、視力等搭載)の派遣を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数	54							54
実施延日数	1	従事者延数	5	支出総額(円) 164,144 (内訳) 検査費99,144円、人件費65,000円(5人分)						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外) 事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	NPO法人炊き出しの会 コロナ感染対策のため2月は中止。								

<b>事業名</b>	外国人等健康診断・相談事業		<b>内容</b>	健康診断・医療相談 ( )							
<b>概要</b>	「外国人のための無料健康相談と検診会」実行委員会、市医師会等と連携し、外国人を対象に健康診断及び相談を行う		<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			<b>対象者延数</b>					102			102
実施延日数	1	従事者延数	36	支出総額(円) 944,726 (内訳) 検査費889,570円、医療材料費55,156円							
<b>特記事項</b>	連携している団体・機関名(済生会以外)		外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会、静岡市静岡医師会、静岡県弁護士会、静岡県国際交流協会、静岡県立大学、静岡市保険年金課等								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)		静岡済生会看護専門学校学生22名参加。外国人検診者15カ国。								

<b>事業名</b>	生計困難者等に対する日用品及び交通費等の支援事業		<b>内容</b>	そ の 他 ( そ の 他 )							
<b>概要</b>	ホームレス、身寄りのない生計困難者等を対象に日用品等の支援を行う。また、救命救急受診者で軽傷の場合等には、病院から目的地までの交通費の支給を行う		<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			<b>対象者延数</b>					4			1
実施延日数	5	従事者延数	5	支出総額(円) 14,862 (内訳) 日用品2,380円、タクシー代12,480円(5名)							
<b>特記事項</b>	連携している団体・機関名(済生会以外)										
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

<b>事業名</b>	聴力障害者手話通訳支援事業		<b>内容</b>	診 療 ( )							
<b>概要</b>	聴力障害者を対象に、診察及び入院時に手話通訳の支援、調整を行う		<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			<b>対象者延数</b>								36
実施延日数	31	従事者延数	31	支出総額(円) (内訳)							
<b>特記事項</b>	連携している団体・機関名(済生会以外)										
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

<b>事業名</b>	外国人医療通訳支援事業		<b>内容</b>	診 療 ( )							
<b>概要</b>	静岡県国際交流協会と連携し、日本語が通じない外国人を対象に、診察及び入院時に医療通訳の支援、調整を行う		<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			<b>対象者延数</b>						140		
実施延日数	66	従事者延数	75	支出総額(円) 102,690 (内訳) 12カ国、5名医療通訳者							
<b>特記事項</b>	連携している団体・機関名(済生会以外)		静岡県国際交流協会								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

<b>事業名</b>	がん患者就労支援事業		<b>内容</b>	就 労 ・ 社 会 参 加 支 援 ( )							
<b>概要</b>	ハローワークと連携し、がん患者の就労支援及び相談を行う		<b>支援対象</b>	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			<b>対象者延数</b>								18
実施延日数	12	従事者延数	12	支出総額(円) (内訳)							
<b>特記事項</b>	連携している団体・機関名(済生会以外)		静岡公共職業安定所								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

事業名	無料健康相談事業		内容	健康診断・医療相談 ( )						
概要	福祉事務所、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、生活困窮者、社会的弱者を含む地域住民を対象に健康診断及び相談支援を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数							9	9
実施延日数	1	従事者延数	6	支出総額(円) (内訳) 済生会フェア(相談コーナー9名)						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

施設名	静岡済生会総合病院、静岡医療福祉センター成人部、伊豆医療福祉センター									
-----	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	支管内各施設における無料健康相談会事業		内容	健康診断・医療相談 ( )						
概要	施設利用者・家族を対象に無料の相談会を施設行事開催時に行う。施設利用者だけでなく幅広く参加を募る	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数			13			15	20	48
実施延日数	2	従事者延数	46	支出総額(円) 104,924 (内訳) 伊豆: 文具等15,761円、印刷代31,876円、備品購入41,580円等						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

施設名	静岡済生会総合病院、特別養護老人ホーム小鹿苑、特別養護老人ホーム小鹿なでしこ苑									
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	啓蒙・周知活動		内容	その他 ( 研 修 )						
概要	施設利用者・家族・職員や地域住民、関係機関を対象になでしこプラン、無料低額診療事業等の済生会の活動について周知する。また、地域住民、関係機関等と連携し、講演会、情報交換会等を開催する	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数			309				235	544
実施延日数	13	従事者延数	62	支出総額(円) 26113 (内訳) 小鹿なでしこ苑: なでしこカフェにて広報						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)		病院: 保護観察所							
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)		病院: コロナ感染対策のため、従事者研修会1回、静岡市ケアマネっと協会実務者研修会、民生児童委員協議会での周知活動が中止となった							

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	虐待高齢者緊急受入れ事業		内容	その他 ( その他 )						
概要	家族の介護放棄による虐待高齢者等を緊急入所により受け入れる	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)		要請がなかったため、未実施							

施設名	静岡市桜の園、静岡済生会総合病院
-----	------------------

事業名	虐待障害者への緊急受入れ事業	内容	その他 (その他)							
概要	家族等による障害者への虐待の緊急保護において、緊急を要するケースを静岡済生会総合病院と連携し、受け入れていく	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円) (内訳)								
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	虐待緊急保護受入れの要請がなかったため、未実施								

施設名	静岡市桜の園
-----	--------

事業名	少年院在院者奉仕活動実習受入れ事業	内容	就労・社会参加支援 ( )							
概要	短期間で改善・更正する可能性が高いとされた、概ね18歳未満の少年が入院する「駿府学園」と連携し、在院者に対して更正に向けた教育活動を実施する場として、桜の園生活介護事業(通所)を実習先として提供する	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数				17				17
実施延日数	10	従事者延数	17	支出総額(円) (内訳)						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

施設名	静岡県川奈臨海学園
-----	-----------

事業名	保護観察対象者の社会貢献活動受入れ事業	内容	就労・社会参加支援 ( )							
概要	静岡保護観察所、観察官と連携し、保護観察対象者等の社会貢献活動を受け入れる	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数				12				12
実施延日数	2	従事者延数	2	支出総額(円) 1,200 (内訳) 飲み物代						
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)	静岡保護観察所								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	施設退所者の健康診断補助事業	内容	健康診断・医療相談 ( )							
概要	生活困窮のため健康診断を受けていない退園生に対するアフターケア及び健康状態のフォローを行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円) (内訳)								
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	令和元年度は対象となる退園生がいなかったため実施しなかった。								

施設名	静岡済生会療育センター令和										
事業名	障害児療育講座（健康医療相談）		内容	健康診断・医療相談（ ）							
概要	施設利用者及び家族を対象に無料の相談会を療育セミナー開催時に行う。施設利用者だけでなく、幅広く参加を募る		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数						99		99
実施延日数	8	従事者延数	35	支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)										
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

### 第三次なでしこプラン事業計画後に実施した事業（令和元年度）

施設名	静岡済生会総合病院										
事業名	無料インフルエンザ予防接種事業		内容	その他（その他）							
概要	ホームレスや生活困窮者を支援している施設に入所中の保険証がない方、支払い能力がまだない方などを対象にインフルエンザ予防接種を実施し健康維持を図る		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数	5							5
実施延日数	1	従事者延数	5	支出総額(円) 24,900 (内訳) 4,980円×5名							
特記事項	連携している団体・機関名(済生会以外)		NPO法人POPOLOハウス								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)										

## 2 静岡県済生会監査室

コンプライアンスの遂行と説明責任に対する社会的要請が高まる中で、社会福祉法人においても内部統制システムの整備と適切な運用が強く求められており、これまで以上に業務チェック機能を果たす内部監査の重要性が高まっている。

平成24年度に発足した監査室は、引き続き関係法令、通知等に基づき施設の事務処理及び運営等が適正に行われているかどうかを明らかにし、必要な指導及び是正改善等を行うために下記の監査を実施した。

### (1) 社会福祉法人<sup>静岡県</sup>済生会支部静岡県済生会監査規程に則って次の監査を実施

- ①定期監査 時期及び内容を定めて計画的に実施。
- ②決算監査 毎会計年度終了後、決算役員会前に実施。

#### ・定期監査・

施設名	監査日
静岡県川奈臨海学園	令和元年6月25日
小鹿なでしこ苑	令和2年1月21日
静岡市桜の園	令和2年1月27日
小鹿苑	令和2年1月28日
静岡済生会療育センター令和	令和2年1月29日
静岡医療福祉センター成人部	令和2年1月29日
なでしこ保育園	令和2年2月21日

#### ・決算監査・

施設名	監査日
監査法人および会計事務所による 会計監査	平成31年4月18日、19日 20日、22日
監事監査	平成31年4月25日

### (2) 行政機関等による指導監査及び実地指導等への立会

#### ・静岡県・静岡市による指導監査

施設名	監査日	実施機関
静岡県川奈臨海学園	令和元年7月9日	静岡県
小鹿なでしこ苑 (書面監査)	令和2年1月29日	静岡市
静岡市桜の園	令和2年2月4日	静岡市
小鹿苑	令和2年2月5日	静岡市
静岡済生会療育センター令和	令和2年2月6日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	令和2年2月6日	静岡市
なでしこ保育園	令和2年3月13日	静岡市

・静岡県による指導調査

施設名	監査日	実施機関
静岡済生会看護専門学校	令和元年7月2日	静岡県

・静岡市保健所立ち入り検査

施設名	監査日	実施機関
静岡済生会総合病院	令和元年12月6日	静岡市保健所

(3) 支部監事による施設実地監査への立会

施設名	監査日
静岡済生会療育センター令和	令和元年7月3日
静岡医療福祉センター成人部	令和元年7月3日
小鹿苑	令和元年7月3日
小鹿なでしこ苑	令和元年7月3日
静岡市桜の園	令和2年1月15日
静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	令和2年1月15日
静岡市心身障害者ケアセンター	令和2年1月15日

(4) 法人本部内部監査への立会

施設名	監査日	実施機関
静岡県川奈臨海学園	令和元年10月16日	本部監査指導室
伊豆医療福祉センター	令和元年10月16日	本部監査指導室
ワーク春日	令和元年10月17日	本部監査指導室
静岡市桜の園	令和元年10月17日	本部監査指導室
静岡済生会療育センター令和	令和元年10月18日	本部監査指導室
静岡医療福祉センター成人部	令和元年10月18日	本部監査指導室
静岡医療福祉センターライトホーム	令和元年10月18日	本部監査指導室
小鹿苑	令和元年10月23日	本部監査指導室
小鹿なでしこ苑	令和元年10月23日	本部監査指導室
静岡済生会訪問看護ステーション	令和元年10月24日	本部監査指導室
静岡総合病院	令和元年10月24日	本部監査指導室
静岡済生会看護専門学校	令和元年10月25日	本部監査指導室
支部事務局	令和元年10月25日	本部監査指導室

### 3 静岡済生会総合病院 (病院等事業)

#### 基本理念

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します。

#### 令和元年度目標及び結果

##### 目標 1 安心・安全・高機能な急性期医療の提供

- ・業務の標準化と整理整頓等を進め、顧客サービスの向上に努める。
- ・入院患者を中心とした機能の集約を目指す。

##### 結果

- ・各病棟のナースコールを更新
- ・VRE 感染により急性期病床の有効活用が困難であった。

##### 目標 2 患者さん・連携医へのサービス向上

- ・「治す医療」と「支える医療」の充実に努める。
- ・プライバシーの配慮、外来施設整備の充実、接遇の質の向上を図る。
- ・地域の医療機関との連携を強化した紹介、逆紹介の推進。
- ・無料低額診療、生活困窮者支援事業を推進する。
- ・広報活動の充実、強化に努める。ホームページのリニューアルを実施する。

##### 結果

- ・外来診察室入口に扉を設置し、壁を塗装
- ・生活困窮者支援施設にてインフルエンザ無料予防接種実施
- ・済生会フェア、市民公開講座、ナーススクールを開催し、地域公開行事の充実に努めた。また、ホームページのリニューアルを実施

##### 目標 3 優秀な人材の確保

- ・必要な人材の確保と定着を目指し、職員教育の更なる充実に努める。

##### 結果

- ・後期研修医 4 名の確保

##### 目標 4 働きやすい環境

- ・専門性を生かした業務を行える体制を整備。
- ・働き方改革への対応。勤怠管理システムの構築。
- ・障がい者雇用率 2.5%以上を維持し続ける。

##### 結果

- ・メンタル的不調後の復職時に産業医面接を実施
- ・勤怠管理システムの運用を開始
- ・障がい者を 5 名採用し、雇用率維持に努めた。

##### 目標 5 安定した経営

- ・新入院数及び入院単価向上に努める。

##### 結果

- ・入院単価は増加したものの、手技料の増加は微増であった。

##### 目標 6 組織改革

- ・静岡医療福祉センター児童部と平成 31 年 10 月の統合を目指す

##### 結果

- ・静岡済生会療育センター令和と名称変更し、令和元年 10 月 1 日統合した。

静岡県中部地域の中核病院 (昭和 23 年 6 月 1 日開設) として、入院診療を中心とする診療の充実に努めるとともに、救命救急センター、周産期センター、地域災害医療センター、健康管理センターのほか、地域福祉サービス事業等の運営、活動を積極的に進め、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進を図った。

地域連携を一層推進するほか、医療の質及びサービスの向上を図り急性期病院として地域に更に貢献できる医療の提供を目指した。

なお、病院経営については、新入院数及び入院単価の向上、医療従事者の確保、支出削減に努め、安定した財源確保を図るとともに、職員の患者、連携医へのサービス向上等への意識付け並びに業務構造改革を推し進めた。

### (1) 病院運営事業

病床の適正配置と効率運用により、各診療科の安定した診療体制を確保した。救命救急、周産期、脳卒中、循環器等地域のニーズに対応するとともに、7対1看護基準の維持により、安心・安全な看護体制の構築を図った。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
許可病床数	521床	521床	521床
一日平均入院患者数	464名	447名	451名
一日平均外来患者数	979名	998名	984名

### (2) 救命救急センター・地域災害医療センター事業等

専門医を配置し、救急医療体制の充実強化を図った。また、災害派遣医療チーム(DMAT)の研修に積極的に参加し、大規模災害発生時の医療チーム緊急派遣に機動的に応じられるよう努めた。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
救急患者数	18,000名	17,939名	18,768名
うち入院患者数	4,300名	3,938名	4,310名

### (3) 臨床研修事業

臨床研修病院として、研修医を受け入れ、各科指導医による臨床実務を通じて基本的知識、技術の習得などの臨床研修を行い医師としての資質向上に努めた。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
受入研修医数	23名	20名	22名

### (4) 医師・看護師確保対策事業(院内保育所)

医師・看護師の離職防止と潜在医師・看護師の再就職を促進するために、平成27年度に開園したなでしこ保育園の充実運営に努めた。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
事業所内保育事業(共同枠)	90名/日	84名/日	84名/日
〃 (地域枠)	20名/日	18名/日	17名/日
病児保育事業	延べ10名	延べ2名	延べ6名
放課後児童健全育成事業	7名/日	7名/日	7名/日

#### (5) 地域福祉サービス事業

社会福祉法人が運営する総合病院として、各医療福祉相談活動を通じ、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進など社会福祉の向上に努めた。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
医療相談	10,000 件	9,347 件	8,200 件
心理相談	5,400 件	4,592 件	5,019 件

#### (6) 無料低額診療事業

生計困難者を対象に、無料または低額な料金での診療、無料の健康相談、保健教育等を行った。診療活動においては、生活保護患者以外の生計困難者について関係機関と連携の上、対象者への支援に努めた。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
実施率	10.0%	7.6%	8.1%
対象者延べ数	40,000 名	32,838 名	32,650 名

#### (7) 生活困窮者支援事業

無料低額診療対象者のみならず、生活困窮者全般を対象に、無料健康相談や無料または低額な料金での検診等を行った。無料低額診療事業とあわせて、支部内の他施設も含め、地域の関係機関・団体や当事者ととも啓発活動、教育活動の他、地域での福祉的課題について積極的に取組を行った。

主な対象者：

刑余者（刑務所などを出所した者）、DV被害者、ホームレス、単身高齢者、就労困難者への支援など

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
対象者延べ数	1,500 名	1,510 名	1,925 名

#### (8) 健康管理センター事業

地域住民及び福祉施設入所者、一般事業所従業者の疾病予防、健康の保持増進に応えるため、人間ドック・各種健康診断を積極的に実施した。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
人間ドック	2,200 名	1,765 名	1,784 名
生活習慣病予防健診等	12,300 名	12,105 名	11,967 名

#### (9) 地域開放事業

将来の生き方や職業の選択について考えている中学生、高校生を対象として医療、保健、福祉への理解を深めるため職場体験、ナーススクールなどを開催した。がん広報にも注力し、市民公開講座も開催した。

区 分	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
市民公開講座	2 回	2 回	2 回
職場体験(中学生参加人数)	40 名	43 名	33 名
高校生ナーススクール	40 名	41 名	40 名
健康講座&トークショー			3 回

## 4 静岡済生会療育センター令和

### 基本理念

私たちはノーマライゼーション実現のため、あたたかな心をもって皆さんを応援いたします。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 適切な支援の提供

- ・児童、成人それぞれの特性等に応じた支援を計画する。
- ・短期入所による地域支援

**結果** 児童、成人それぞれの外出支援、日中活動の計画  
短期入所年間利用延人数 564 名

#### 目標 2 安全な医療・生活の場の提供

- ・院内感染対策・医療安全対策を強化する
- ・継続的に虐待防止に取り組む

**結果** インシデント報告の活用  
虐待防止の研修参加、定期的な委員会の開催

#### 目標 3 人材育成

- ・接遇、専門研修に積極的に取り組む

**結果** 各職場への研修の提案  
業務手順書等の見直しの評価・改善

#### 目標 4 経営の安定化

- ・医師、直接処遇職員の確保に努める
- ・関係機関と連携し、入院（入所）児童、成人の確保に努める

**結果** 医師 1 名（非常勤） 看護師 2 名（常勤） 准看護師 1 名（非常勤）  
支援員 2 名（非常勤）  
一日平均入院（入所）児（者）数 37.0 名

#### 目標 5 労働環境の向上

- ・仕事と生活の調和に取り組み、働きがいのある職場を作る
- ・職員が、安心して業務ができるような環境を提供する

**結果** 年次有給休暇の取得促進、休暇制度等の周知、統合後の環境変化への対応

#### 目標 6 児童部の将来構想

- ・静岡済生会総合病院と平成 31 年 10 月の統合を目指す

**結果** ・静岡済生会療育センター令和と名称変更し、令和元年 10 月 1 日統合した。

(1) 医療型障害児入所施設事業（一種事業）（定員 60 名）

障害福祉サービス事業（療養介護）（二種事業）（定員 60 名）

入所児（者）及び通院児に対し、リハビリテーション・医療ケア・教育・施設内保育・生活指導等の総合療育及び療養上の支援を行った。従来の肢体不自由児療育に加え、発達障害児の診療を行うなど、利用者からの幅広いニーズに応えた。

入所児（者）数は、保育・教育機関の環境の充実、交通網の発達による在宅志向の高まりなどから減少傾向にある。外来患者数も前年より減少となった。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均入院(入所)児(者)数	43 名	37.0 名	41.2 名
一日平均外来患者数	190 名	173.6 名	179.1 名

疾病別人員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

疾病別	年間実人員	構成比
脳性麻痺	58 名	71.6%
進行性筋・神経疾患	4 名	4.9%
二分脊椎	5 名	4.9%
その他	15 名	18.6%
計	81 名	100.0%

月別入所者数

	初日在籍者数	延べ人数
31 年 4 月	37 名	1,059 名
元年 5 月	34 名	1,021 名
6 月	32 名	1,057 名
7 月	36 名	1,172 名
8 月	37 名	1,259 名
9 月	34 名	1,096 名
10 月	37 名	1,119 名
11 月	33 名	1,101 名
12 月	34 名	1,167 名
2 年 1 月	35 名	1,145 名
2 月	34 名	1,077 名
3 月	38 名	1,265 名
合計	421 名	13,538 名
月平均	35.1 名	1,128.1 名
一日平均		37.0 名

(2) 障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）㊦

障害者総合支援法による指定障害福祉サービス事業所として、市町から障害福祉サービス受給者証の交付を受けた利用者と契約し、家庭において、冠婚葬祭、疾病、事故などの理由や、養育者のレスパイトとしての休養や旅行等の理由による短期入所を受けることにより、本人及びその家族の福祉の向上を支援した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
年間利用延人数	200名	564名	332名
一日平均利用人数	0.5名	1.5名	0.9名

### (3) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業（二種事業）<sup>㊦</sup>

#### ア 静岡市障害者等相談支援事業<sup>㊦</sup>

静岡市における相談支援事業指定施設として、在宅福祉を担当する職員を配置し、在宅の障害児（者）及び保護者に対して地域生活での具体的な相談、指導、サービスの調整を実施すると共に地域生活に根ざしたボランティアの育成を図った。

#### イ 障害者等相談支援事業（虐待相談等含む）<sup>㊦</sup>

- ・相談支援事業として総合的な在宅サービスの調整、援助等

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
地域生活の支援・助言	2,500件	3,405件	5,499件

#### ウ 障害児等療育支援事業<sup>㊦</sup>

##### (7) 在宅支援訪問療育等指導事業

- ・派遣職員 医師、PT、OT、ST、心理士等
- ・活動先 障害児保育実施園、重度障害児（者）訓練ホームの巡回、在宅訪問

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
相談等延件数	73件	71件	61件

##### (イ) 在宅支援外来療育等指導事業

- ・個別相談、療育音楽、グループ保育活動

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
相談指導延件数	280件	169件	202件

##### (ウ) 施設支援一般指導事業

- ・障害児保育研修、発達フォローアップ教室、自主研修会等の指導等

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
支援回数	13件	11件	12件

#### エ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ・利用者の相談支援及びサービス利用計画書の作成等

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
利用計画書作成件数	140件	135件	143件

#### (4) 日中一時支援事業（公益事業）委

在宅福祉を担当する相談支援員を中心に、医療施設機能を提供しながら在宅の障害児（者）の相談支援や施設短期入所の受け入れなど、地域に住む家族の生活への具体的な支援事業を実施した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
年間利用延人数	30名	83名	46名
一日平均利用人数	0.1名	0.22名	0.12名

#### (5) その他の事業

##### 研修室・会議室等運営事業

医療・社会福祉事業に携わる者の研修等の便宜に供するため、会議室等の管理運営事業を行った。

##### ア 会議室、ミーティング室利用状況

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
会議等利用人数	5,500名	4,646名	5,708名

##### イ 宿泊施設利用状況

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
宿泊施設利用人数	30名	20名	47名

## 5 静岡医療福祉センター成人部

### 基本理念

・健康で豊かに安心して生活できるよう支援します。

### 令和元年度目標及び結果

- 目標 1** 利用者の意向を反映した行事により、利用者の達成感・満足度向上を目指す  
利用者の自治会と共に行事の企画、立案することにより、自治会活動の活性化と主体性を育てていく。利用者・自治会の自己実現・達成感を体感することにより、満足度の向上を目指す。
- 結果** 三津シーパラダイス・富士山静岡空港等 6 か所 16 回実施。利用者の意向が反映され満足の声が多く聞かれた。3 月より、新型コロナウイルス感染症のため活動を自粛したため、再開を望む声が絶えない。
- 目標 2** 地域との交流を深める  
施設外の催し・大会等積極的に参加し、施設内行事においても外部の団体等招待する。利用者の視野を広げると共に、地域に施設を理解してもらう。
- 結果** 絵画・陶芸との作品展の参加では、多くの受賞があり、利用者も作品展への参加意識が高まっている。施設内の行事にも外部の参加者が定着し交流を楽しんでいる。
- 目標 3** 安定した経営を目指す  
利用者の開拓に努め、入所者を確保する。(目標) 年間 延べ 20,400 人
- 結果** 昨年に引き続き増加し、過去 5 年においても最多の延べ人数となった。病気等の入院が過去最少となったことが大きな要因である。

#### (1) 障害者支援施設（一種事業）（施設入所支援 60 名、生活介護 60 名）

障害者総合支援法による障害者支援施設として、日中は「生活介護」、夜間は「施設入所支援」の 2 事業を行った。

- ・定 員 施設入所支援 60 名 (60 名)
- ・年間入所者数 6 名 (3 名)
- ・年間退所者数 5 名 (1 名)
- ・年間延在所者数 20,055 名 (19,600 名)
- ・一日平均在所者数 54.8 名 (53.7 名)

#### 疾病別人員

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	百分比 (%)
脳 卒 中	32	53.3
その他の脳原性疾患	10	16.7
脳 外 傷	1	1.6
そ の 他	17	28.3
計	60	99.9

月別生活介護・入所者数

月	生活介護							施設入所	
	入所		通所		合計				
	入所 人数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数
4	56	56	1,218	5	47	61	1,265	56	1,656
5	57	56	1,284	5	48	63	1,332	56	1,728
6	57	55	1,120	5	48	63	1,168	55	1,678
7	57	56	1,264	5	58	63	1,322	56	1,702
8	56	55	1,206	5	45	59	1,251	55	1,699
9	56	55	1,139	5	51	61	1,190	55	1,626
10	55	55	1,261	5	52	61	1,313	55	1,699
11	55	55	1,152	5	50	61	1,202	55	1,646
12	55	56	1,189	5	47	61	1,236	56	1,677
1	56	56	1,227	5	41	60	1,268	56	1,659
2	56	55	1,100	5	42	60	1,142	55	1,595
3	56	56	1,200	5	48	60	1,248	56	1,690
計			14,360		577		14,937		20,055

- ・定員 生活介護 60名
- ・開所日数 260日 (259日)
- ・年間延利用者数 14,937名 (14,555)
- ・一日平均在所者数 57.45名 (56.1)

(2) 福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）（空床）

指定障害福祉サービス事業所として短期入所事業を空きベッドを利用して実施した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
年間利用延人数	210名	292名	279名
一日平均利用人数	0.6名	0.8名	0.7名

## 6 静岡医療福祉センターライトホーム

### 基本理念

三療免許者に対し、必要な技術及び生活指導を行い、利用者の自立更生をはかる。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 経営の安定化

- ・利用者（施術者）の確保
- ・利用客の確保 目標 3,000 人
- ・支出の見直し

#### 結果 施術技術の研修会の実施

利用客 2,035 人

指導者の施術料納入割合変更の継続

#### 目標 2 施設の広報活動

- ・済生会フェアへの参加
- ・マッサージ無料奉仕の実施
- ・近隣町内会への広報活動の実施

#### 結果 済生会フェアでのマッサージ無料体験 利用者 162 名

マッサージ無料奉仕 利用者 31 名

ライトホームパンフレットの配布

#### 目標 3 施設の将来構想

- ・具体的な方策の検討

#### 結果 関係団体、行政機関と施設の在り方について検討を行ったが具体的な方策については見いだせなかった。（令和 2 年度も継続とする）

### (1) 利用者指導事業（定員 20 名）

利用者の技術（鍼・灸・マッサージ）及び生活訓練動作の指導を行い、自立生活ができるよう養成に努めた。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均通所者数	5 名	2.1 名	2.8 名

### 疾病別人員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

疾病分類	通所実人員	構成比
先天性視覚障害者	1 名	20.0%
中途視覚障害者	4 名	80.0%
計	5 名	100.0%

## 月別在所者数

年月	通所者延人数
31年 4月	37名
1年 5月	31名
6月	31名
7月	51名
8月	38名
9月	54名
10月	52名
11月	42名
12月	47名
2年 1月	40名
2月	36名
3月	39名
合計	498名
月平均	41.5名
一日平均	2.1名

(年間通所日数 239日)

## (2) その他

\*ライトホーム研修会の実施

開催日：令和元年8月30日(金)

参加者：ライトホーム指導員研修生、視覚障害者当事者、視覚特別支援  
学校理療科生徒及び卒業生

## 7 静岡市発達障害者支援センター

### 基本理念

直接支援である相談、発達、就労支援及び情報提供や啓発研修のより一層の充実を図り、医療、保健、福祉、教育、雇用、親の会など関係機関や団体との連携により専門性を持った支援職員人材育成、ペアレントメンター、地域サポーター養成研修等の支援を行っていく。

### 令和元年度目標及び結果

**目標 1** 静岡市発達障害者支援センター運営事業について、相談支援、発達支援、就労支援を継続し適切な助言や支援の提案を行う。

**結果** 相談支援については、昨年度より増加をしている。相談内容としても多岐にわたり、電話で丁寧にお話しをうかがい情報提供する等を行った。相談支援を丁寧に行ったこと、発達障害を支援する関係機関が増えてきたことから、発達支援の件数が減少したと考える。

**目標 2** 発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業について、支援体制サポート強化事業において、巡回相談を実施する。ペアレントメンター・地域サポーター養成講座を実施し、あわせてペアレントメンターの活用を行う。

**結果** ペアレントメンター・地域サポーター養成研修を、6 回行った。昨年度好評であったアドバンス研修（フォローアップ講座）を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。支援体制・サポート強化事業について、事後アンケートから本事業を受けることで、訪問先スタッフの支援する技術向上に寄与できたと考える。

**目標 3** 発達障害について、主催研修会、専門研修会、講師派遣を実施し、普及と啓発活動を行う。

**結果** 当センターの支援の柱と考えている事業である。令和元年度は一般研修、各専門研修、講師派遣を実施し、かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会を医師向けに 3 回実施することができた。

発達障害者支援法に基づく発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行い、また、静岡市在住の自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害がある本人、家族、関係者及び関係機関からの相談支援を行った。

### (1) 発達障害者支援センター事業(委)

#### ア 発達障害児者及び家族に対する相談支援

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間延相談件数	1,000 件	800 件	663 件

イ 発達障害児者及び家族に対する発達支援

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間延相談件数	2,000 件	1,807 件	2,503 件

ウ 発達障害児者に対する就労支援

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間延相談件数	280 件	325 件	394 件

エ 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間開催回数(参加延人数)	70 回 (4,000 名)	129 回 (3,958 名)	171 回 (5,447 名)

(2) 家族支援・支援体制サポート強化事業<sup>委</sup>

ア 支援体制サポート強化事業による巡回

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間延ケース数	450 件	745 件	602 件
年間延訪問数	126 回	124 回	139 回

イ ペアレントメンター・地域サポーターの養成

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間開催回数(参加延べ人数)	6 回 (300 名)	6 回 (321 名)	10 回 (476 名)

ウ ペアレントメンターの活用

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間実施回数 (ペアレントメンター延べ人数)	45 回 (130 名)	44 回 (131 名)	127 回 (197 名)

## 8 伊豆医療福祉センター

### 基本理念

私たちは、障がいを持つ方々の生活の充実・満足を目指して、チームを組んで医療と療育の総合的支援に取り組みます。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標

#### 1 地域ニーズの的確な把握と、適切な病床利用

目標：入所者数 36 名

#### 2 入所利用者の満足度の向上

目標：病棟での様々な行事の充実

#### 3 在宅重症心身障害児者の福祉向上

目標：利用者数 生活介護 6 名/日 児童発達支援 4 名/日 短期入所等 5 名/日

#### 4 機能充実に伴う人材の確保・職員の質の向上

#### 結果

- ・ 令和元年度は、1 名の退所と 2 名の入所があり、令和元年度末の入所児（者）数は児童が 12 名、成人が 23 名の計 35 名となった。
- ・ 病棟において、夏祭やクリスマス会などの行事を実施し、入所利用者に季節感を味わっていただいた。
- ・ 外来患者については、職員の退職等の影響で、延べ患者数は減ったものの、いわゆる発達障害の患者は増加しており、診療枠を増やしているが、新患の予約は 3 か月から 6 か月先でないと入れられない状況となっている。
- ・ 在宅支援福祉関連サービスでは、生活介護利用者が前年の 5.7 名/日から 5.8 名/日に増加したが、児童発達支援利用者は、障害の重度化に伴う病欠等があったため、3.5 名/日から 3.1 名/日に減少した。
- ・ ひとつひとつの医療・介護行為は、安全を心がけ、丁寧に実施した。安全対策委員会・感染防止委員会等を開催し、防ぐことのできる事故を起こさないよう努めた。
- ・ 重度・重症児（者）医療・療育講習会他へ職員を参加させ、職員の医療・療育技術の向上を図った。

### (1) 医療型障害児入所施設（一種事業）・障害福祉サービス事業（療養介護）（二種事業） (定員計 43 名)

当センターは、社会福祉施設であるとともに、医療法に基づく病院でもあることから、外来診療として脳神経外科、発達行動小児科、小児神経科、整形外科、リハビリテーション科、障害児（者）歯科の専門診療を行っており、社会福祉施設としての機能と併せ、静岡県東部の障害児（者）の総合的な療育支援を担っている。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
1 日平均在所児（者）数	36 名	33.3 名	32.8 名
1 日平均外来患者数	95 名	87.0 名	90.7 名

( 入 所 )

( 外 来 )

- ・定 員 43 名 ( 43 名)
- ・年間延べ患者数 24,266 名 (25,407 名)
- ・在所児(者)数 35 名 ( 34 名)
- ・年間診療日数 279 日 ( 280 日)
- ・年間延べ在所児童(者)数 12,220 名 (11,966 名)
- ・一日平均患者数 87.0 名 ( 90.7 名)
- ・一日平均在所児童(者)数 33.3 名 (32.8 名)

(2) 障害福祉サービス事業(生活介護)(二種事業)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
1日平均利用者数	6名	5.8名	5.7名

- ・定 員 5 名 ( 5 名)
- ・登録者数 19 名 ( 20 名)
- ・延べ通所者数 1,363 名 (1,379 名)
- ・一日平均通所者数 5.8 名 ( 5.7 名)
- ・年間通園日数 235 日 ( 239 日)

(3) 障害児通所支援事業(児童発達支援)(二種事業)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
1日平均利用者数	4名	3.1名	3.5名

- ・定 員 5 名 ( 7 名)
- ・登録児童数 11 名 ( 9 名)
- ・年間延通所児数 682 名 ( 783 名)
- ・一日平均通所児数 3.1 名 ( 3.5 名)
- ・年間通園日数 214 日 ( 222 日)

(4) 障害福祉サービス事業(短期入所)(二種事業) ㊦

(5) 日中一時支援事業(地域生活支援)(公益事業) ㊦

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
1日平均利用児(者)数	5名	3.9名	4.5名

- ・年間延べ利用者数 1,443 名 (1,645 名)
- ・一日平均利用児(者)数 3.9 名 ( 4.5 名)
- ・年間実施日数 366 日 ( 365 日)

短期入所・日中一時支援の合計

(6) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業(二種事業) ㊦

ア 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

相談支援専門員2名を配置し、障害児(者)が福祉サービスを利用する際に義務付けられている利用計画作成のための相談に対応した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
計画相談等(モニタリング含む)	500回	315回	211回

イ 静岡県障害児（者）地域療育支援センター事業

登録された障害児（者）を対象とした在宅訪問・外来・施設支援等に対し、当センターの職員である医師・PT・OT・ST・心理士・管理栄養士・看護師・保育士等を派遣し、在宅障害児（者）の療育指導を実施した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
在宅支援訪問療育等指導事業	200回	260回	242回
在宅支援外来療育等指導事業	200回	154回	198回
施設支援一般指導事業	35回	37回	32回

ウ 静岡県発達障害者支援センター機能強化事業

自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、学習障害等があるいわゆる発達障害児（者）に対し、それぞれのライフステージに応じた生活を支援するため、地域での医療や福祉サービス等の情報提供を行うとともに、学校・保護者を含む関係機関との調整会議に参加した。

県発達障害者支援センターが主催する研修会へ参加した。

賀茂地区と伊東熱海地区の発達障害に関する巡回相談を2回実施した。

エ 一般相談支援等

身近な地域での各種福祉サービスの利用などに関する、電話等を含めた様々な相談に応じるとともに、障害児（者）が充実して暮らせる地域づくりを目指し、行政機関や、自立支援協議会との連携を図った。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一般相談等	700回	901回	645回
自立支援協議会等参加		100回	108回

## 9 静岡県川奈臨海学園

### 基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身とも健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるように支援を行う。

### 令和元年度目標及び結果

#### <児童養護施設>

#### 目標 1 家庭的施設整備に養護の推進計画に合わせた施設整備への取り組み

- (1) 施設の老朽化に伴い、改築計画を進めるため静岡県と連携して関係機関との調整を図り、新しい施設整備にむけ、「基本設計・実施設計」へと進める。
- (2) 改正児童福祉法の理念に基づく「都道府県推進計画の見直し」にそって、具体的な計画提示と家庭的養護のための運営方針をまとめる。

**結果** 令和元年度、基本設計を実施し、実施設計へと進めた。「都道府県推進計画の見直し」に向けて、10年間の計画を静岡県へ提出した。

#### 目標 2 基本理念に基づき、児童の生活支援及び自立へ向けての取り組み

- (1) 自立支援計画に基づき、児童一人ひとりに生活支援を行う。
- (2) 高校卒業学年児童の自立に向けた支援する。
- (3) 家庭復帰へ向けて家族との連携及び協働について家族再統合のできる家庭の調整を行う。

**結果** 児童一人ひとりにしっかり向き合い課題を検討し、子どもたちの特性を理解して日々の支援にあたった。年間退所者は、14名中、社会人として自立2名、家庭復帰8名、他施設措置変更3名、20歳となり措置解除となった大学生1名であった。児童相談所との連携のもとアフターケアも継続している。

#### 目標 3 里親支援への取り組み

- (1) 里親の研修、実習を積極的に受け入れる。
- (2) 里親の開拓や資質向上のサポートを行う。

**結果** 里親事業の推進と里親開拓を行い、里親研修については基礎研修及び施設実習を3組（6名）、基礎研修のみを1組（2名）、更新研修1組（2名）を積極的に受け入れた。当施設から里親へ措置変更された中学卒業児童に関し、当該里親に対する支援を継続した。

#### <病児保育>

#### 目標 4 病児保育事業の充実を図る

- (1) 伊東市からの委託を受け指定医療機関との連携により病児に対して疾病からの回復を支援する。
- (2) 関係機関との連携を図りより多くの市民へ周知する。

**結果** 年間の利用数延べ348名であった。利用時間の延長、土曜日を利用できるよう取り組んだが年間利用者延べ数400人以上とはならなかった。常勤の看護師を配置し、診断名別に保育区分の違う病児の受け入れに対応した。伊東市内保育園への情報提供やSNSの利用により情報発信の場を広げた。

(1) 児童養護施設運営事業（一種事業）

ア 本体施設

定員 65 名で虐待を受けた児童が増加する中、3 才から大学 2 年生まで関係機関との連携を図りながら、個々の自立支援計画に基づき支援を行った。高校卒業学年は 3 名で、2 名は就職、1 名は障害者支援施設への措置変更となった。中学卒業児童 5 名のうち普通科高校へ 4 名・特別支援学校へ 1 名が進学した。一日平均 51.4 名の子どもたちに対し、職員全体が関わりながらより良い支援を行うよう努めた。

イ 小規模グループケア

小規模グループケア棟定員 6 名で、専任職員と本体施設職員がシフトを組み、児童との関係を密接にし、ケアの内容を深めた。令和 2 年度地域小規模児童養護施設開設に向けて準備期間として取り組んだ。

・定員	65 名	(65 名)
・年間入所児童数	8 名	(12 名)
・年間退所児童数	14 名	(8 名)
・年間延在所児童数	18,823 名	(18,870 名)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均在所児童数	53.8 名	51.4 名	51.7 名
小規模グループケア	6 名	6 名	6 名

入所理由別人員（主訴）（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

入園理由	年間取扱実人員（名）	構成比（％）
疾患	0	0
養護	7	12.5
虐待	49	87.5
計	56	100

月別在所児童数

年 月	初日在籍者数（名）	延べ人数（名）
31 年 4 月	52	1,560
元年 5 月	52	1,615
6 月	52	1,560
7 月	52	1,612
8 月	52	1,615
9 月	52	1,560
10 月	52	1,612
11 月	52	1,556
12 月	50	1,550
2 年 1 月	50	1,572
2 月	51	1,487
3 月	51	1,524
計	618	18,823
月 平 均	51.5	1,568.5
一日平均		51.4

## (2) 病児保育事業（二種事業）委

伊東市から病児保育事業の業務委託を受け、基本理念を「子どもたちの健全な成長と発達を保障しつつ疾病からの回復を援助する」とし、指定医療機関と連携して病児の看護保育を行い伊東市内の子育て世帯の支援を行った。

令和元年度の利用

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間利用延べ児童数	400 名	348 名	378 名
月平均児童数	34 名	29 名	31.5 名

## (3) その他の事業（なでしこプラン）

### ア 保護観察対象等が行う社会貢献活動の受け入れ

保護観察所及び地区保護司会と連携し、保護観察対象者の社会貢献活動の場を当学園が提供し継続的に受け入れと支援を行った。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間受け入れ回数	2 回	2 回	2 回
年間受け入れ延べ人数	16 名	12 名	14 名

### イ 退所児童の健康診断補助事業

「施設退所後、生活困窮のため健康診断を受けていない退園生に対して、伊東市民病院で健康診断の受診及び健康状態のフォローを行う。

令和元年度は、対象となる退園生がいなかったため未実施となった。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
年間受け入れ延べ人数	2 名	0 名	1 名

## 10 静岡市心身障害児福祉センター「いこいの家」

### 基本理念

児童福祉法に基づく児童発達支援センターとして、発達心配な乳幼児の子育て支援・家庭支援の充実を図り、こどもたちの健やかな育ちと安心・安全な生活の実現に努める。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 通園支援事業の充実

- ・第 4 期指定管理更新 4 年目を迎えた。これからも個々の発達状態を踏まえた個別支援計画に基づき、こども・保護者の気持ちに寄り添いながら、集団活動を通して遊びとコミュニケーションの力を育て、生活習慣の自立と社会適応を支援していく。

#### 結果

- ・中堅職員 4 名が育児休業より復帰した為、若手職員の指導体制が強化できた。
- ・50 名の通園児の障がいは様々で、多動なクラス、肢体不自由なクラス、医療的ケアの必要なクラス等 8 人余りの小集団でまとまって運営している。年度末に担任交流をし、他クラスの様々な障がいの理解を深め対応の幅を広げることができた。

#### 目標 2 職員の資質向上

- ・園内研修（業務マニュアルの理解、障がい発達の捉え方、保護者対応、進路支援、個別サービス評価等）の実施。
- ・専門性の高い園外研修に多く参加する。

#### 結果

- ・渡邊 Dr. を講師に「障がい児のてんかん」について園内研修を実施した。
- ・歯と口の健康センターの久保田 Dr. より直接的な摂食指導、症例検討等知識を深めることができた。
- ・「ポータルプログラム（子どもの発達段階を踏まえながら保護者が家庭生活の中で個別支援をおこなう為のプログラム）」についての具体的対応方法を職員同士で学ぶことができた。
- ・園外の研修には K 式発達検査、ペアレントメンター研修、心身障害児療育講習会等多くの研修に参加できた。

#### 目標 3 早期療育の切れ目ない支援の拡充

- ・静岡市による発達早期支援「あそびのひろば」や平成 30 年度に開始された通所教室「ぱすてるひろば」と連携を図り、両サービスを終了したこども達の受け皿として親子教室の「ミニひまわりグループ」の拡充を図る。

#### 結果

- ・「あそびのひろば」から保健師の紹介で参加希望が多く出た。「希望が出た時に即受け入れ、断らない」という考えをベースに実施できた。新型コロナウイルス感染予防の為 3 月の実施ができなかった。

#### 目標 4 地域福祉事業の充実

- ・毎月発行の「いこいの家通信」で、事業内容を地域自治体や関係機関に伝えていく。
- ・地域に開かれた施設として見学・研修・実習・ボランティア等の受け入れを拡充していく。

#### 結果

- ・「いこいの家通信」のお母さんの詩は多方面から良い評価をもらった。
- ・発達特性を持つ実習生に関して大学側と密に連絡を取りながら対応した。

(1) 障害児通所支援事業 (二種事業) ⑤

ア 児童発達支援通所支援

一日平均在所(通園)児童 43 名を目標に、就学前の心身障害児に対して集団参加を通して、生活と遊びを充実させ、健やかな成長、発達をしていくように支援し、併せて就園・就学に向けての基礎作りをした。

・入園児数 (定員)	50 名	(50 名)
・年間新入所児童数	26 名	(26 名)
・年間退所児童数	17 名	(26 名)
・年間延在所 (通園) 児童数	9,695 名	(9,916 名)
・一日平均在所 (通園) 児童数	40.6 名	(41.3 名)

疾病別人員 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

病 名	年間取扱実人員 (名)	百分比 (%)
脳性麻痺	4	8.0
自閉症(自閉傾向を含む)	16	32.0
精神遅滞(発達遅滞を含む)	5	10.0
染色体異常(ダウン症他)	11	22.0
その他	14	28.0
計	50	100.0

月別在所児童数 (年間通所日数 239 日)

年 月	初日在籍者数	延 人 数
31 年 4 月	50	655
元年 5 月	50	802
6 月	50	867
7 月	50	891
8 月	50	754
9 月	50	797
10 月	50	904
11 月	50	854
12 月	50	840
2 年 1 月	50	775
2 月	50	787
3 月	50	765
合 計	600	9,695
月平均	50	807.9
一日平均		40.6

イ 保育所等訪問支援

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
訪問相談	13 件	90 件	78 件
来所相談	／件	38 件	55 件
電話相談	／件	424 件	356 件

(2) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業(二種事業) ⑩

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
障害児支援利用計画	180件	74件	81件
特定相談計画	／件	0件	0件
モニタリング	／件	89件	69件
一般相談	／件	192件	215件
電話相談	／件	1,304件	1,167件
訪問支援	／件	186件	215件
その他	／件	195件	142件

(3) その他 地域療育支援事業

ア 親子教室 年間 224回(月平均19回) 登録者数 139名 (136名)  
参加児延数 目標 1,600名 実績 1,628名 (1,618名)

イ 療育相談の実施(随時) 目標 60名 62名 (44名)  
一般相談(電話及び来所) 273名 (323名)

ウ 地域交流等

地域に開かれた通園施設として、地元をはじめ広く市民やボランティア、学生、主婦の方々との交流を実施した。

- ・いこいの家通信発行 12回(12回) 339部 (378部)
- ・夏祭り参加者 477名 (414名)
- ・城東保健福祉エリア地域交流まつり参加者 422名 (349名)
- ・実習生受入 23名(25名) 延 271名(274名)
- ・体験研修受入 71名(69名) 延 109名(117名)
- ・ボランティア受入 個人 20名(22名) 団体 59名(63名) 延 399名(432名)

## 11 小 鹿 苑

### 基本理念

私たちは、ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、真に、ご利用者の立場に立った支援を  
実践します。

### 令和元年度目標及び結果

#### 「積極的に小鹿苑の魅力を発信する」

#### 目標 1 ご利用者一人ひとりを大切にするサービスの提供に努める。

- ・施設や住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。

**結果** 施設入所においては、施設の生活がより快適になるように、食事・入浴・排泄の  
三大介護の質の向上に取り組んだ。結果、特に皮膚トラブルの改善が顕著にみら  
れた。在宅サービスにおいては、事業間で連携を取り、在宅生活の継続や適切な  
施設入所を支援した。

#### 目標 2 「小鹿苑カフェ」を中心に地域の福祉活動を支える。

**結果** 「小鹿苑カフェ」で出会う、地域の住民や民生委員などを通して、地域の防災訓  
練に参加したほか、地域の課題やニーズなどの情報を的確に収集した。

#### 目標 3 稼働率の向上及び運営の効率化を図る。

- ・事業計画の目標値の達成に向けて職員一人ひとりが努力する。
- ・働きやすい環境づくりを行う。

**結果** 各事業の経営状況について、月次の運営会議において事業間で相互に協力できる  
こと等を検討し、事業目標達成に向けて努力した。人材確保が非常に厳しい訪問  
介護においては、事業中止の検討も行ったが、在宅において必要な事業と考え、  
引き続き人材確保に努めることとした。また、各事業において積極的に業務改善、  
効率化を進めた結果、職員の有給休暇消化率も向上した。

#### 目標 4 後継者の育成や新たな人材確保に努める。

- ・研修の充実を図り新たな人材確保に努める。
- ・実習生へのきめの細かい指導を行い雇用に繋げる。
- ・就職相談会等に参加し積極的な採用活動を行う。

**結果** 介護職員の研修計画を策定し、外部の個別研修に一人 1 回以上の参加を目指し概  
ね達成できた。苑内研修においても、今年度も法人内の人的資源を活用し、充実  
した研修を行い、多くの職員が参加した。また、実習生へのきめ細かい指導を徹  
底し、就職相談会等にも積極的に参加し採用につなげた。

(1) 特別養護老人ホーム運営事業（一種事業） 80名定員（80名）

経営の健全化のため空床率の削減に努めたが、退所者の増加により1日平均利用延人数は前年度より1名減少した。平均介護度については、要介護認定の更新を積極的に行ったため維持することができた。

令和元年度は食事・入浴・排泄の三大介護を見直し、入居者のQOLの向上に取り組んだ。その結果、特に入居者の皮膚トラブルの改善につながった。また、介護の標準化を目指し、介護技術・知識の向上に努めた。

入浴機器の更新やLED照明の導入を行い、環境整備も行った。

- ・年間新入所者数 36名（20名）
- ・年間退所者数 36名（20名）
- ・入所者平均年齢 86.8歳（86.0歳）
- ・平均介護度 4.05（4.0）
- ・新規入所申込 79件（85件）
- ・入所希望者（年度末現在） 72名（83名）

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均延利用人数	79名	78.0名	79.1名

疾病別人員（平成31年4月1日～令和2年3月31日現在）

病名	年間実人員（名）	構成比（%）
脳卒中等	29	24.2
認知症等	64	53.3
リウマチ、脊椎症等	4	3.3
その他	23	19.2
計	120	100.0

(2) 老人短期入所事業（二種事業） 定員20名（20名）

職員数を確保ができなかったため、1日の利用者数を制限して実施した。

介護度の高い利用者にも対応した結果、新たに看護体制加算Ⅲ・Ⅳを算定できた。

- ・年間延べ利用者数 3,372名（3,238名）
- ・年間実利用者数 385名（333名）
- ・利用者平均年齢 86.7歳（83.2歳）
- ・平均介護度 要支援2.0 要介護3.2（要支援1.0 要介護2.9）

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均延利用人数	14名	9.2名	8.9名

(3) 老人デイサービスセンター（通所介護事業）（二種事業）定員一日35名（35名）

通常規模型（月次301名以上750名以下）でサービスを行った。19名の利用が終了したが、地域のケアマネジャーとの連携を密にし、25名の新規利用につなげることができた。

- ・年間延べ利用者数 5,247名 (5,647名)
- ・年間実利用者数 569名 (626名)
- ・年間実施日数 308日 (306日)
- ・利用者平均年齢 86.8歳 (85.5歳)
- ・平均介護度 要介護 1.9 (要介護 2.0)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均延利用人数	22名	17.0名	18.5名

#### (4) 老人居宅介護等事業（訪問介護事業）（二種事業）

処遇改善等により職員を補充することができ、11名(10名)のホームヘルパーが稼動した。施設入所等により15名の利用者が減少し、新規利用者は12名であったが、職員補充により身体介護の提供を増やすことができた。

- ・年間延べ利用者数 3,051名 (3,017名)
- ・年間実利用者数 371名 (348名)
- ・年間活動日数 308日 (308日)
- ・利用者平均年齢 81.4歳 (80.0歳)
- ・平均介護度 要介護 1.8 (要介護 1.7)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均延利用人数	14名	9.9名	9.8名

#### (5) 地域包括支援センター運営事業（公益事業）委

静岡市からの受託事業として、西豊田、東豊田、東源台小学校区の高齢者からの総合相談、介護保険要支援認定者等の予防プラン作成を行い、関係機関や民生委員との連携により問題解決に努めた。支援困難ケースについて、その取り組みの検討や、地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議を実施した。

- ・年間延べ相談者数 2,341名 (2,126名)
- ・介護予防支援(直営・委託) 3,234件 (2,898件)
- ・介護予防ケアマネジメント(直営・委託) 1,719件 (1,649件)
- ・年間活動日数 308日 (312日)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
月平均数	380件	412.8件	378.9件

#### (6) 居宅介護支援事業（公益事業）

4名(4名)のケアマネジャーが稼動し、ケアプランを作成した。前年度より継続して地域包括支援センターから予防ケアプランの受託作成を行った。要介護認定調査は、年間145件(136件)であった。

- ・年間ケアプラン給付管理者延べ数 1,748件 (1,719件)
- ・ケアプラン新規作成者 73名 (58名)
- ・平均介護度 要支援 1.5 要介護 2.1 (要支援 1.5 要介護 2.0)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
月平均件数	145名	145.7名	143.2名

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業（公益事業）

要支援者・事業対象者で日常生活に支障がある方に対して、日帰りで各種サービスを提供する通所介護相当サービス及びホームヘルパーを派遣し日常生活を支援する訪問介護相当サービスを行った。

（通所介護相当サービス）

- ・年間通所相当延べ利用者数 730名（501名）
- ・年間通所相当実利用者数 129名（93名）
- ・年間通所相当実施日数 308日（306日）

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
月平均実利用者数	10名	10.8名	7.8名

（訪問介護相当サービス）

- ・年間訪問相当延べ利用者数 1,866名（2,009名）
- ・年間訪問相当実利用者数 299名（347名）
- ・年間訪問相当実施日数 308日（308日）

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
月平均実利用者数	30名	24.9名	28.9名

月別在所（利用）者数

（名）

区分	特養		短期		デイサービス		通所相当		ホームヘルパー		訪問相当		地域包括支援センター	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	81	2,366	27	210	46	411	9	53	28	243	28	164	93	161
5月	81	2,379	33	267	45	428	9	55	30	241	28	176	97	189
6月	80	2,315	25	244	44	397	9	55	30	234	27	155	96	178
7月	79	2,389	30	274	47	436	10	57	31	258	27	182	112	215
8月	84	2,402	30	293	48	427	10	61	32	245	26	164	108	243
9月	81	2,346	38	328	46	428	12	61	31	266	24	166	102	203
10月	86	2,444	42	330	47	468	12	69	29	258	24	176	101	212
11月	83	2,373	34	316	49	460	11	66	31	262	23	133	92	187
12月	82	2,445	30	285	50	436	12	66	33	257	22	132	110	239
1月	83	2,435	33	287	52	434	12	62	32	248	22	126	88	151
2月	81	2,245	30	254	47	436	11	61	32	264	23	137	83	149
3月	81	2,414	33	284	48	486	12	64	32	275	25	155	82	214
合計	982	28,553	385	3,372	569	5,247	129	730	371	3,051	299	1,866	1,164	2,341
月平均	81.8	2,379.4	32.1	281.0	47.4	437.3	10.8	60.8	30.9	254.3	24.9	155.5	97.0	195.1
1日平均	78.0		9.2		17.0		2.4		9.9		6.1		7.6	
					19.4				16.0					

## 12 小鹿なでしこ苑

### 基本理念

あなたがあなたらしく 私が私らしく  
～ユニット環境を生かして、個性豊かな生活を支援します～

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 個性豊かな生活支援

・入居者一人ひとりがどのような人生を歩んできたのかアセスメントしその人生を肯定していくことで、その人らしい生活を支援する。

**結果** できる限り個人の生活リズムに合わせたケア、個人の嗜好に配慮した支援を行っている。しかし、外出やレクの希望には十分にこたえられていない。

#### 目標 2 稼働率の向上

・入居者の健康管理、介護の質の向上、病院との連携などを通して入院延人数の減少に努める。  
・入居待機者の情報収集や苑内の連絡調整に努め、入退所に係る空床の減少に努める。

**結果** 入院者数が 4 割減り、目標の一日平均入所者数 94.0 を達成した。平均介護度が 4 を上回り、収入増につながった。

#### 目標 3 タブレット端末の有効活用

・介護記録を効率化し、ペーパーレスを目指す。  
・データの記録・管理運用を通して職員の連携を強化し、介護の質の向上につなげる。

**結果** 記録が簡便になり、申し送り機能や写真での記録など有効活用できている。記録の内容が表面的、入力漏れがあるなどの課題が残っている。

#### 目標 4 人材の獲得・育成

・実習生指導を充実させ、済生会への就職に結びつける。  
・職場環境の改善に努め、働きやすく、働き続けられる職場を目指す

**結果** 実習指導は充実していたが、就職には結びついていない。新人職員への指導は丁寧に行っていたが、結果的に退職ゼロにはなっていない。外国人留学生求人説明会に参加し複数名の希望者があった。

### (1) 特別養護老人ホーム運営事業（一種事業） 定員 96 名 (96 名)

入退所者数は、昨年度より少なめであった。入院者数の減少により稼働率が向上し目標値を達成できた。

・年間新入所者数	23 名	(25 名)
・年間退所者数	23 名	(26 名)
・一日平均入所者数	94.0 名	(91.3 名)
・入所者平均年齢 (R2. 3. 31 現在)	85.0 歳	(83.8 歳)
・平均介護度	4.00	(3.95)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均入所者数	94名	94.0名	91.3名

(2) 短期入所事業 (二種事業)

定員 13 名

実利用者数は年間 3 名で、そのうち 1 名が長期入所になった。

- ・年間延べ利用者数 441 名 (646 名)
- ・一日平均利用者数 1.2 名 (1.8 名)
- ・利用者平均年齢 (R2. 3. 31 現在) 91.0 歳 (82.0 歳)
- ・平均介護度 3.00 (2.84)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用者数	3名	1.2名	1.8名

月別利用者数

(名)

	特 養		短 期	
	月末 入所者数	入所者延人数 ※	実人数	利用者 延人数
31年4月	95	2,774	3	70
元年5月	96	2,911	3	72
6月	95	2,768	3	77
7月	96	2,907	2	43
8月	95	2,940	2	50
9月	96	2,860	2	24
10月	97	2,861	1	14
11月	95	2,788	1	15
12月	96	2,948	1	19
2年1月	95	2,942	1	19
2月	96	2,766	1	16
3月	95	2,945	1	22
合計		34,410		441
一日平均		94.0名		1.2名

※介護報酬を算定している人数

## 13 静岡市桜の園

### 基本理念

「あなたらしさを応援します。」

・人権を尊重し、日々有効なサービスを展開します。そして常に生活の豊かさを求めます。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 地域共生社会の実現に向け、積極的な情報発信・取り組みを行い、活力ある施設を目指します。

- ・町内会の活動に積極的に参加し、施設として取組めることを提案します。
- ・広報誌を活用し、施設の知名度を上げる努力をします。

#### 結果

地域のイベント（大茶会や茶工場祭りなど）に参加したほか、今年度は内牧桜ウォークラリーの開会式の司会を務め、コースに施設の園庭を開放して地域に貢献した。

また、地区防災や安倍口学区の防災訓練に参加し車椅子やAEDの操作方法について講習し、地域や他施設との連携を図った。

広報誌は年2回発行し家族、相談支援事業所等に配布した。

#### 目標 2 サービスの向上を目指します。

- ・多様なニーズを持った利用者に対応できるよう、介護スキルの向上・適切な対応ができるための研修や勉強会を実施します。
- ・計画的な第三者評価の受審
- ・喀痰吸引資格取得の計画的な確保
- ・食事サービスの充実

#### 結果

感染症対策研修として外部講師を招き2日間にわたってグループワークによるスキル習得のための実践的な研修を行った。また、PSW(精神保健福祉士)を招き精神障害者の対応に向けた研修を行った。

喀痰吸引等研修を1名が受講し、登録者は5名となった。

食事については、同じ給食事業者に委託する障害者支援施設を訪問し意見交換を行った。メニューにご当地メニューや回転ずしを加え、変化のある食事提供を心掛けた。

#### 目標 3 施設の安定的な運営を図り、利用率向上に努めます。

- ・「短期入所事業」の新規開拓、新規受け入れが入所の利用率の向上にも寄与するものと考え、生活介護と同様に、市内の公的機関や相談支援事業所及び焼津・藤枝と言った公的機関を訪問し、開拓します。
- ・ショート利用者の居室の環境を整えます。
- ・日々の生活において潤いを感じられるよう、環境づくりをし、レクリエーション活動に力を入れ、日常生活において楽しみが得られるようにします。
- ・実習生を大切にし、労働力の確保につなげます。

#### 結果

市内、市外の公的機関や相談支援事業所については、年度内に3回訪問をした。この結果、市外からの施設入所利用者、短期入所利用者が増加し利用率の向上に繋がった。

入所全体の部屋替え等を行う中で、短期入所利用者を受け入れるための環境づくりを行った。

毎月1回程度イベントは行うことができた。年2回の職員ボランティアによる外構部分の清掃や庭の手入れを行い園芸等に繋がっている。  
職員の母校に企画提案し、卒業生による職場紹介を行い結果として1名が法人内で採用になった。また、実習生の1人が同じように法人内で採用になった。

障害者総合支援法に基づき、障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、利用者本位のサービスの提供を基本として利用者との対等な関係を構築する。  
サービスの質の向上を図り、利用者の選択に応える。  
障害者の個人としての尊厳を重視した福祉サービスの提供を目指す。

(1) 障害者支援施設（一種事業）（定員 80 名）**⑩**

ア 施設入所支援（定員 50 名）、施設入所をともなう生活介護（定員 50 名）

福祉、医療、リハビリ、栄養等多職種が連携し、身体状況、健康状態の把握と対応を怠らず、標準的なサービスの見直しを行い、本人や家族の意向を汲み取りながら支援できるように心がけた。また、作業療法士による集団・個別リハビリを実施し、身体機能の維持に努めた。

- ・年間入所者数 8 名（4 名）
- ・年間退所者数 4 名（4 名）
- ・年間延べ在所要者数 施設入所支援 17,348 名（16,094 名）  
生活介護 12,477 名（11,518 名）

一日平均利用人数	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
施設入所支援	48.8 名	47.4 名	44.1 名
生活介護	48.8 名	47.7 名	44.3 名

疾病別人員 (平成31年4月1日 ～令和2年3月31日)

病名	年間実人員（名）	構成比（%）
脳血管障害	5	8.6
脳性麻痺	17	29.3
脳外傷（頭部外傷）	8	13.8
脊髄損傷	6	10.4
下肢機能障害（上記以外）	9	15.5
特定疾病（難病等）	3	5.2
その他	10	17.2
計	58	100.0

月別在所（利用）者数 (名)

区 分	入所支援		生活介護	
	人数	延べ人数	人数	延べ人数
31年 4月	45	1,313	44	967
元年 5月	47	1,397	47	1,043
6月	48	1,421	48	955
7月	49	1,470	49	1,096
8月	50	1,460	48	1,041
9月	49	1,419	49	1,002
10月	50	1,501	50	1,118
11月	50	1,443	49	1,016
12月	50	1,504	49	1,068
2年 1月	50	1,488	50	1,107
2月	50	1,399	50	972
3月	50	1,533	50	1,092
合 計	588	17,348	583	12,477
月平均	49.0	1445.6	49.0	1039.7
一日平均		47.4		47.7

(入所支援日数 366 日・入所生活介護日数 262 日)

イ 生活介護（通所） 定員 30 名（30 名）

生活介護（通所）では、安全かつ安心して過ごせる場であることを前提に、常時介護を必要とする方に身体機能・生活能力の維持、向上のための援助及び創作的活動の機会の提供を行った。

- ・実利用人数 39 名 (42 名)
- ・年間延べ利用者数 4,186 名 (4,344 名)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用人数	22.2 名	17.3 名	18.0 名

利用者数調 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延べ利用者数	一日平均 利用者数
30 (30)	2 (0)	3 (5)	4,186 (4,344)	17.3 (18.0)

月別利用者数 (名)

年 月	初日在籍者数	延べ人数
31年 4月	36	347
元年 5月	36	356
6月	36	346
7月	36	389
8月	36	359
9月	35	349
10月	35	362
11月	36	360
12月	36	333
2年 1月	36	332
2月	36	303
3月	36	350
合 計	430	4,186
月平均	35.8	348.8
一日平均		17.3

(年間通所日数 242日)

(2) 日中一時支援事業 (公益事業) 【生活介護 (通所) 空床利用】 (指)

日中において一時的な見守りその他の支援を必要とする障害者に対して送迎・入浴・食事のサービスを提供した。

- ・実利用人数 1名 (1名)
- ・年間延べ利用者数 36名 (49名)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用人数	空床利用	0.2名	0.2名

(3) 障害福祉サービス事業 (短期入所) (二種事業) 定員5名 (5名) (指)

前年度に引き続き、年間を通じて緊急の要請に対応し受け入れを行った。家族の急な疾病等など地域で暮らす方々のニーズに対応した。

担当者会議へもできる限り積極的に出席し、その方の生活像を把握し、他機関との情報共有にも努めた。

- ・実利用人数 46名 (35名)
- ・年間延べ利用者数 1,321名 (996名)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用人数	3.3名	3.7名	2.7名

月別在所（利用）者数（年間通所日数 242 日）（名）

区 分		日中一時		短期入所		
		人数	人数	人数	延べ人数	
30 年 元年	4 月	1	3	21	129	
	5 月	1	3	18	147	
	6 月	1	4	21	143	
	7 月	1	3	21	138	
	8 月	1	4	21	94	
	9 月	1	0	21	100	
	10 月	1	1	21	116	
	11 月	1	4	21	90	
	12 月	1	4	16	68	
	2 年	1 月	1	3	22	129
		2 月	1	3	20	85
		3 月	1	4	15	82
合 計		12	36	238	1,321	
月平均		1.0	3	19.8	110.1	
一日平均			0.2		3.7	

（４）静岡市桜の園城北館 障害福祉サービス事業（生活介護）（二種事業）㊦

定員 20 名（20 名）

城北館は、平成 28 年度より静岡市桜の園の従たる事業所ではなく、単独の生活介護事業所となった。前年度に引き続き、外出の機会を増やし、徒歩で行ける近隣のみならず、目的地を設定し、数人で外出できる機会も提供した。

また、地区社協の方達と七夕の集い、餅つき大会を開催した。例年、成人を祝う会も行っているが、令和元年度は、対象となる利用者がいなかったため未実施となった。

- ・実利用人数 19 名（19 名）
- ・年間延べ利用者数 2,916 名（2,947 名）

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均利用人数	14.0 名	12.1 名	12.2 名

利用者数調（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延べ利用者数	一日平均 利用者数
20 (20)	1 (0)	1 (0)	2,916 (2,947)	12.1 (12.2)

月別利用者数 (名)

年 月	初日在籍者数	延べ人数
31年 4月	19	249
元年 5月	19	253
6月	19	248
7月	19	271
8月	19	261
9月	19	238
10月	19	262
11月	19	218
12月	19	231
2年 1月	19	225
2月	19	212
3月	18	248
合 計	227	2,916
月平均	18.9	243.0
一日平均		12.1

(年間通所日数 242日)

## 14 静岡市心身障害者ケアセンター

### 基本理念

一人ひとりが地域の一員として自立した日常生活を営むことができるよう、利用者が主役となり地域福祉に貢献できる施設を目指します。

### 令和元年度目標及び結果

#### 目標 1 利用者一人ひとりの自立した地域生活につなげる。

**結果** (1) 在宅生活に必要なリハビリ（歩行訓練、筋力維持向上訓練等）を提供し、安心して日常生活を営むことができるように努めた。

延べ利用者数：自主トレーニング 528 人

(2) 長い間自宅だけで過ごされてきた利用者に地域で生活する能力向上のため の訓練（家事訓練、園芸等）を行い、自立した日常生活を営むことができるように努めた。

延べ利用者数：家事訓練 1,092 人 ： 園芸 208 人

#### 目標 2 多様化する障害や個人の状況に即した適切な対応ができるように努める。

**結果** (1) 利用者の障害の種別等に即した適切な対応ができるよう、職員の研修への積極的な参加を進めた。

職員研修参加回数 目標：33 回（延べ参加者数 40 人）

結果：23 回（延べ参加者数 63 人）

※ 平成 30 年度：33 回（延べ参加者数 39 人）

(2) 個人の状況に即した対応や支援の幅を広げるため、個別の担当者会議等に積極的に参加し情報収集するとともに、各機関との関係性や連絡体制の強化に努めた。

(3) 個人の適性に即した自立訓練のプログラムの見直しに努めた。

#### 目標 3 利用者の意向にできる限り沿えることができるように努める。

**結果** (1) 希望する自立訓練の日数を利用できるよう努めた。

(2) 訓練、送迎、入浴の見直しを随時行い、満足いただける環境づくりに努めた。

利用者アンケートのサービス満足度 目標：76%以上 結果：83% (81%)

#### 目標 4 自立訓練新規利用者の確保に努める。

**結果** (1) 対象となる地域の相談支援事業所と連携し、自立訓練終了後、個人にあった障害福祉サービス事業所等を提案できるように努めた。

(2) 空席利用にて日中一時支援を利用されている方について、個別面談、相談等を行いながら他障害福祉サービス事業所の紹介や見学の同伴等を必要に応じて行い、新規自立訓練利用者の受入れ環境を整備した。

新規利用者 ： 自立訓練（機能訓練） 7 名 自立訓練（生活訓練） 9 名

※平成 30 年度：自立訓練（機能訓練） 4 名 自立訓練（生活訓練） 6 名

静岡市心身障害者ケアセンターは、静岡市の指定管理者として自立訓練事業（機能訓練・生活訓練）を実施しており、自立訓練のサービス支給期間が終了した後、継続利用を希望される方については、空席利用として日中一時支援事業を実施した。

指定管理期間の最終年度である令和元年度は、引き続き利用者の要望にできる限り応えることができるように、更なるサービスの向上と利用者確保に努めた。

また、併設の障害者生活支援センター城東は、静岡市障害者等相談支援事業として市より委託を受け、委託支援事業及び特定相談・障害児相談支援事業を実施した。

疾病別人員		※令和2年3月31日時点	
病名	実人員(名)	構 成 比 (%)	
(機能訓練)			
脳性麻痺	2	10%	
脳血管障害	7	35%	
脳外傷	1	5%	
脊椎損傷	0	0%	
その他	10	50%	
計	20	100%	
(生活訓練)			
知的障害	10	42%	
脳性麻痺	1	4%	
ダウン症	1	4%	
自閉症	1	4%	
その他	9	38%	
精神障害	2	8%	
計	24	100%	

### (1) 障害福祉サービス事業⑥

#### ア 自立訓練（機能訓練）（二種事業）（定員 20 名）

機能訓練の利用者は、身体機能の維持・向上、生活上の必要な訓練を、静岡済生会療育センター令和から訓練スタッフの派遣を受けて実施した。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用者数	7名	6.5名	5.2名

月別利用者数（年間開所日数 240日）

区 分 年 月	機能訓練		区 分 年 月	機能訓練		
	実人員(名)	延人数(名)		実人員(名)	延人数(名)	
31年 元年	4月	17	2年	1月	18	126
	5月	18		2月	19	118
	6月	17		3月	20	148
	7月	18	合 計		1,561	
	8月	18	月平均		130	
	9月	19	一日平均		6.5	
	10月	17				
	11月	18				
	12月	19				

## イ 自立訓練（生活訓練）（二種事業）（定員 10 名）

生活訓練の利用者は、精神障害の合併により長い間、ご自宅で過ごされている方や就労事業所等への通所が困難になった方、障害特性による配慮の必要な方が利用された。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均利用者数	8 名	6.8 名	7.7 名

月別利用者数（年間開所日数 240 日）

区 分		生活訓練		区 分		生活訓練	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)		
31年 元年	4月	21	130	2年	1月	22	147
	5月	24	126		2月	24	140
	6月	23	123		3月	24	152
	7月	24	141	合 計			1,631
	8月	24	134	月平均			135.9
	9月	24	126	一日平均			6.8
	10月	23	132				
	11月	24	140				
	12月	25	140				

## (2) 日中一時支援事業（公益事業）（空席利用）<sup>⑤</sup>

27年度から自立訓練の新規利用の確保・拡大に努めてきたため、空席利用である日中一時支援の利用者は減少した。自立訓練終了後、ご利用希望の方を受け入れた。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均利用者数	10 名	9.1 名	10.3 名

月別利用者数（年間開所日数 240 日）

区 分		日中一時支援		区 分		日中一時支援	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)		
31年 元年	4月	57	201	2年	1月	50	162
	5月	57	183		2月	50	152
	6月	57	193		3月	47	161
	7月	57	211	合 計			2,171
	8月	54	197	月平均			180.9
	9月	53	168	一日平均			9.1
	10月	52	193				
	11月	52	177				
	12月	51	173				

(3) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（二種事業）委

ア 障害者等相談支援事業

障害者生活支援センター城東は、身体障害を中心に在宅の障害者・家族の相談に関わり、必要な機関との連絡・調整を行い、支援を行った。

(ア)年間相談延べ件数 2,622 件 (内ピアカウンセリング 205 件) (2,691 件)  
 年間相談延べ人員 723 名 (内ピアカウンセリング 95 名) (700 名)

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
一日平均利用件数	7 件	6.9 件	7.6 件

(イ)その他の活動 身体障害者生活支援事業 68 回 (66 回)  
 ・社会資源を活用するための支援 (外出支援等) 39 回 (39 回)  
 ・社会生活力を高めるための支援 (パソコン教室) 29 回 (27 回)

(ウ)参加会議 主催した個別支援会議 8 回 (15 回)  
 参加した個別支援会議 10 回 (22 回)  
 連絡調整会議等 21 回 (24 回)

イ 障害福祉サービス等の利用計画の作成（特定相談・障害児相談支援）

障害者生活支援センター城東は、静岡市の「指定相談支援事業所」として、障害福祉サービスの利用（身体・知的・精神）に関するサービス利用計画書を作成した。

サービス等利用計画作成件数

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成 30 年度実績
月平均件数 ※モニタリング含む	40 件	37 件	28.4 件
年間件数 ※モニタリング含む	480 件	445 件 (内児童 5 件)	341 件 (内児童 4 件)

## 15 ワーク春日

### 基本理念

明るく楽しく働くあなたを応援します。

### 令和元年度目標及び結果（就労継続B型事業所）

#### 目標 1 新規の就労支援事業の開拓する

- ・新しい仕事を開拓することで利用者の就業への意欲を高め、仕事の幅を持たせることにより、様々な障害のある利用者に仕事を提供することが可能になる。また、新規の事業導入により工賃の向上につなげたい。

**結果** 新規の作業については、新たに2社から軽作業を受注し、昨年度は安定した供給を得るようになり、従来の軽作業に加えて作業内容が充実し多くの利用者が作業に関わることが可能となった。

#### 目標 2 利用率の向上を図る

- ・「休まずに頑張ろう！」というスローガンを掲げ、利用者の出席率を向上させる取組みを行う。ただ、休まないようにと声かけしても効果が少ないので、毎日が楽しく仕事ができる職場環境の整備や、人間関係を保てるよう日々の声掛けや相談体制の充実を図る。

また、利用率を向上させることにより、登録者が少なくても一日の利用人数を増加させ、収入の安定化につなげることができる。

**結果** 作業する場の座席配置を変え、新たに作業台や椅子を購入するなど室内の環境改善を行った。また利用者の人間関係や相談などに配慮した支援を行った。しかし、長期の入院の利用者が3名出たことなどから利用率の向上には至らず、年間で89.4%の利用率（前年実績は92.4%）にとどまった。

### （1）就労継続支援事業B型（二種事業）（定員30名）

就労支援については、点字印刷事業を中心に、新規の軽作業を増やすなど充実を図った。利用者については、長期の入院等により出席率の低下したことと、昨年度は6名の利用終了に対して新規の利用者が3名であり年間で3名の利用者減となった。それにより、一日平均の利用者数の実績は1.8名減少した。しかし工賃については、新規の軽作業を導入したことにより平均で879円増加することができた。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用人数	26.5名	24.9名	26.7名
平均工賃月額	—	16,326円	15,447円

●月別利用者数 (名)

	利用登録 者数	新規利 用者数	退所 者数	開所日数	利用延べ 人数	一日平均 利用者数
H31年4月	33	1	1	21	554	26.4
R1年5月	33	0	1	21	557	26.5
6月	32	0	0	20	510	25.5
7月	33	1	1	22	555	25.2
8月	32	0	0	20	499	25.0
9月	33	1	1	19	500	26.3
10月	32	0	0	21	515	24.5
11月	32	0	0	20	493	24.7
12月	32	0	1	20	468	23.4
R2年1月	31	0	1	19	455	23.9
2月	30	0	0	18	418	23.2
3月	30	0	0	21	493	23.5
合計	---	3	6	242	6,017	24.9

●障害別利用者数 (平成31年4月から令和2年3月) (名)

		男	女	合計	(備考)
身体障害	視覚	0	4	4	知的との重複1名
	聴覚	2	-	2	視覚との重複1名
	肢体不自由	12	5	17	知的との重複2名 精神との重複1名
	内部	2	-	2	
知的障害		2	4	6	身体との重複1名 精神との重複1名
精神障害		3	0	3	
合計		21	13	34	

(2) 福祉ホーム事業 (二種事業) (定員6名)

新規利用者はなく、3名の利用にとどまった。個別の課題には丁寧に対応した。また、安心かつ快適な居住の場を提供することができた。地域生活に向けては個別の相談を行っている。

	令和元年度計画・目標	令和元年度実績	平成30年度実績
一日平均利用人数	4名	3.0名	3.1名

## 16 静岡済生会看護専門学校（公益事業）

### 基本理念

済生の精神にもとづき、対象となる人間を生命尊厳や個人が尊重されるかけがえのない存在として捉え、それぞれの健康段階にある人に看護が実践できるような専門職業人を目指す。

### 令和元年度目標及び結果

**目標 1** 看護師としての基礎的能力の育成と、済生の理念を基にした看護が実践できる学生を育成する。

**目標 2** 看護師国家試験の全員合格を目指す。

**目標 3** 講義・演習・実習へと学生自身が学びを継続し、深めるよう、講義内容を工夫する。また、教育目標を達成できるよう臨床と協働する。

**目標 4** 教員の経験に応じた教育研修・臨床研修を行い、教育力の向上及び人材育成を図る。

**結果** 看護を必要とする人を総合的に理解する能力を養い、看護に必要な知識・技術を習得し、それぞれの健康段階にある人に応じた看護が実践できる基礎的能力を養った。

保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、それぞれの学年目標を掲げ、学校での基礎的教育や臨地実習での技術習得に励んだ結果、対象の学年においては、国家試験全員合格など、ほぼ目標を達成することができた。

本年度においては、次のとおり 112 名（119 名）の看護師養成教育を行った。

教育課程の適正な運用を図り、個々の学生への学習指導を充実・強化した。特に、臨地実習においては、臨床指導者と教員との連携を図り、学生への指導体制を整えて協働して指導に当たった。学生一人一人の理解度に応じた学習を支援し、その結果、受験生 34 人全員が国家試験に合格することができた。

看護師としての適性がある学生を確保するため、学校説明会やオープンスクールを開催するとともに、県内のナースセンター主催の看護学校進路説明・相談会への参加や高等学校訪問により、看護学生を目指す学生の募集に努めた。

### （1）学年別在籍者数（定員 120 名）

区分	1 年次生	2 年次生	3 年次生	計
令和元年度実績	37 名	38 名	37 名	112 名
平成 30 年度実績	41 名	40 名	38 名	119 名

## (2) 入学試験結果状況

(名)

区 分		令和2年度	令和元年度
受験者	推薦入試	36	29
	社会人入試	12	13
	一般入試	95	85
	計	143	127
合格者	推薦入試	21	19
	社会人入試	2	1
	一般入試	37	34
	計	60	54
入学者	推薦入試	21	19
	社会人入試	2	1
	一般入試	17	16
	計	40	36

## (3) 卒業生の状況

(名)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績
済生会総合病院	32	34
その他県内病院	0	0
県外病院	0	0
進 学	2	4
そ の 他	0	0
計	34	38

## (4) 看護師国家試験結果状況

(名・%)

	令和元年度実績			平成30年度実績		
	受験者数	合格者数	合格者率	受験者数	合格者数	合格者率
静岡済生会看護専門学校	34	34	100.0	38	38	100.0
県内看護専門学校(3年課程)	-	-	97.9	-	-	97.5

平成30、令和元年度合格率は、厚生労働省から入手した新卒者の合格率である。

令和元年度の全国(3年課程)の合格率は94.7%(厚生労働省)となっている。

## 17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか

### 基本理念

障害や疾病を持ち、地域で生活している人々に対して、住み慣れた地域で、安心して「その人らしく心豊かな生活」ができるよう、温かく思いやりの心で質の高い看護を提供します。

### 令和元年度目標及び結果

**目標 1** 利用者の要望に沿い、安全、安心と信頼を得られる質の高い看護を提供する。

**結果** 部署内研修の年間計画によって年 10 回定期的に研修が行い、平均参加率約 84% (常勤 95% 非常勤 72%) 院内外の研修に参加を促し、それぞれが複数回の参加を行った。

苦情報告、インシデント、アクシデント報告の徹底を促した。結果は年報に掲載した。また、静岡市介護サービス情報公表を行った。

外部講師による安全運転講習会やコンプライアンス研修会に参加し、全体会議で周知徹底を促した。

事例検討や日々のカンファレンスで利用者の情報や問題の共有を図った。

**目標 2** 利用者・地域のニーズを知り、保健、医療、介護・福祉サービスとの密接な連携を図る。

**結果** 診療所の医師や他職種との連絡調整を積極的に行なった。

利用者満足度調査実施調査を行った。満足・やや満足が 94% と好意的な意見が多かった。

広報活動として毎月のおたより、年報の発行を行い訪問看護の活動内容を理解して頂くようにした。

サービス担当者会議 (191 件/年)、退院前カンファレンス (100 件/年) へ積極的に参加を行い他機関、他職種との連携を積極的に行なった。

**目標 3** 健全で安定した運営をめざす。

**結果** 職員の入れ替わりはあったが、訪問延べ件数 17,120 件と増加している。短期間利用者の増加や施設入所、病院入院が増え訪問件数は目標達成率 93% に留まった。人件費は増えているが経常収支は黒字決算となった。

医療依存度の高い方、ターミナルケアなど済生会病院相談室、小鹿苑居宅支援事業所との連携をスムーズに行うように努めた。

なでしこカード (静岡済生会救急連携カード) の導入に向け、支部の協力によりすでに導入している小鹿苑・なでしこ苑、医療福祉センター成人部、静岡市桜の園と同じように使用できるよう取り組んだ。導入条件など検討中であり導入には至らなかった。今後も検討を重ね導入できるように努める。

**目標 4** 職場環境の充実を図り、人材の確保に努める。

**結果** 連続休暇、携帯待機明けの有給休暇が取れるよう配慮した。有給消化率は常勤職員 69% 非常勤職員 73.2% だった。

年 2 回及び必要時に個人面接を実施し、職員の就労、生活状況の把握に努めた。

### (1) 訪問看護事業実績

令和元年度は、介護保険、医療保険を含め訪問延件数は 17,120 件であり、平成 30 年度に比べ 289 件（介護保険 486 件減、医療保険 783 件増、その他 8 件減）増加した。また、訪問延件数のうち、6,636 件（6,878 件）は、サテライトみかど台分である。

年間目標件数	18,500 件	
年間年度実績件数		
介護保険延べ件数	13,867 件	(14,353 件)
医療保険	3,199 件	(2,416 件)
その他(実費訪問)	54 件	(62 件)
合 計	17,120 件	(16,831 件)
月平均	1426.7 件	(1,403 件)
1 日平均	58.4 件	(57.6 件)

#### 疾病別 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

病 名	人 員 (名)	構成比 (%)
神経系疾患	29	7.2
呼吸器系疾患	25	6.0
精神障害	27	6.7
脳血管系疾患	48	11.9
骨格系及び結合組織疾患	32	8.0
悪性腫瘍	92	22.7
その他	152	37.5
計	405	100.0

#### 月別訪問者数 (年間訪問日数 293 日)

年 月	取扱実人員 (名)	延 件 数 (件)
31 年 4 月	252	1,437
元年 5 月	254	1,384
6 月	253	1,387
7 月	259	1,542
8 月	255	1,482
9 月	253	1,414
10 月	254	1,469
11 月	253	1,379
12 月	253	1,384
2 年 11 月	243	1,407
2 月	253	1,350
3 月	252	1,485
計	3,034	17,120
月平均	252.8	1426.7
一日平均		58.4

年齢別性別訪問者数 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) (単位：名)

年齢 性別	～ 59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 ～	合 計
男性	16	7	12	30	36	35	39	30	205
女性	10	6	6	12	20	32	46	68	200

(2) グループホーム等への訪問看護

委託契約したグループホーム1施設に週1回の訪問をし、入居者の日常的な健康管理及びグループホーム職員からの相談への対応、また、必要に応じ医師との連絡調整及び指示書の発行を受け、医療処置等の訪問看護を行った。